

【令和 3 年度版】
長野市地域公共交通網形成計画に係る
実施計画（案）
〈暫定版・その 2〉



（令和 2 年度に新規導入した「ぐるりん号」車両）

令和 3 年 5 月
長野市都市整備部交通政策課

目 次

§ 1 実施計画 ～令和2年度の成果と令和3年度の優先事業～

1	令和3年度版の策定に当たって	・・・ 1
2	令和2年度の主な取組	・・・ 2
	(1) 体系	
	(2) 令和2年度に優先的に取り組んだ事業	
	(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に係る公共交通事業者支援	
3	指標一覧	・・・ 14
	(1) 第五次長野市総合計画	
	(2) 長野市公共交通ビジョン・長野市地域公共交通網形成計画	
	(3) 進捗管理の年間スケジュール	
4	運行方法見直し基準	・・・ 15
5	令和3年度の主な取組	・・・ 16
	(1) 体系	
	(2) 令和3年度に優先的に取り組む事業	
6	路線・地域ごとの交通網の課題と今後想定される方向性の概要	・・・ 23

§ 2 実施計画の基本事項（初年度版策定時の記載ほか）

1	策定の趣旨等	・・・ 30
	(1) 背景	
	(2) 法定の地域公共交通再編実施計画や地域公共交通再編実施事業との関係	
	(3) 計画の目的	
	(4) 計画期間	
	(5) 計画の進め方	
2	路線等の個別の見直しの方針	・・・ 31

別紙資料	長野市南部地区住民通勤手段等に関するアンケート結果概要	・・・ 32
------	-----------------------------	--------

§ 1 実施計画 ～令和2年度の成果と令和3年度の優先事業～

1 令和3年度版の策定に当たって

平成29年6月に策定した「長野市地域公共交通網形成計画」に基づき、同年8月に、同計画の実施計画を策定しました。

計画期間は、平成29年度から令和3年度までの5年間で、実施計画は毎年見直すこととしています。

令和3年度版実施計画は、令和2年度の取り組みを振り返るとともに、その成果や足りないところを確認し、これらを踏まえ、令和3年度にどのように取り組むかを記載したものです。



バスの乗り方教室 7月 加茂小学校 <アルピコ交通㈱>



11月 保科小学校 <長電バス㈱>

2 令和2年度の主な取組

(1) 体系

実施項目	施策	事業	実施主体
実施項目 1 地域における公共交通網の確保・維持	1 平坦部における公共交通網の確保・維持	1 鉄道・民間バス路線の運行維持 R2	運行事業者
		2 コミュニティバスの運行維持・見直し	行政・市民・運行事業者
		3 交通結節の強化によるネットワーク化	行政・運行事業者
		4 観光客等の来訪者の回遊性向上 R2	行政・運行事業者
		5 タクシーとの連携	行政・運行事業者
		6 北しなの線への新駅設置の検討	行政・運行事業者
		7 新たな交通システムの導入検討 R2	行政・運行事業者
	2 中山間地域における公共交通網の確保・維持	1 中山間地域間幹線の運行	行政・運行事業者
		2 地域が主体となった公共交通の検討	地域・運行事業者・行政
	3 運行方法見直し基準の作成	1 運行方法見直し基準の作成	行政
実施項目 2 利用環境の整備	1 交通結節、乗継ぎ環境の向上	1 交通結節、乗継ぎ拠点の整備	行政・運行事業者
		2 バリアフリー化の推進 R2	行政・運行事業者
		3 パーク&ライド、サイクル&ライドの施設整備 R2	行政・運行事業者
	2 自転車利用と公共交通の連携	1 自転車利用環境の整備 R2	行政・運行事業者
		2 自転車利用者への情報発信	行政
		3 サイクルラックの導入検討	行政・運行事業者
	3 バスの速達性、定時性の向上	1 バス専用レーン、優先レーンの整備	行政・運行事業者
		2 PTPS の導入の研究	行政・運行事業者
	4 運賃における利便性向上	1 おでかけパスポートの維持	行政・運行事業者
		2 観光客向け企画乗車券の検討 R2	行政・運行事業者
		3 新たな運賃施策の調査・研究	行政・運行事業者

実施項目 2 利用環境の整備	5	IC カードの利便性向上	1	利用範囲の拡大	行政・運行事業者
			2	電子マネー機能の検討	行政・運行事業者
	6	情報提供環境の整備	1	わかりやすい乗継・路線検索の作成	運行事業者・行政
			2	バスロケーションシステム等の調査・研究	行政・運行事業者
	7	自動車の流入抑制	1	中心市街地における自動車流入抑制検討	行政
実施項目 3 利用促進	1	全市民を対象とした意識啓発	1	(仮称)「長野市公共交通の日」の設定 R2	行政
			2	(仮称)「もう2回バス乗車運動」の実施 R2	市民・運行事業者
	2	通勤・通学者に対する利用促進	1	企業・学校と連携したノーマイカー通勤の促進 R2	企業・行政・運行事業者
	3	若年者を対象とした利用促進	1	バスの乗り方教室の開催 R2	行政・運行事業者
			2	バス見学会等の企画	行政・運行事業者
			3	小中学生啓発向け冊子の作成、配布	行政・運行事業者
	4	高齢者に対する利用促進	1	高齢者に対する情報発信	行政・運行事業者
			2	高齢者を対象としたイベントの企画 R2	行政・運行事業者
	5	地域における利用促進	1	沿線住民の住民自治協議会等による利用促進とその支援	地域・行政・運行事業者
評価・検証の実施	評価・検証の実施				行政・運行事業者・協議会

R2 令和2年度に優先的に取り組んだ事業

これまでで一定の成果を得た取組

(2) 令和2年度に優先的に取り組んだ事業

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	4 観光客等の来訪者の回遊性向上
実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	6 情報提供環境の整備
事 業	1 わかりやすい乗継・路線検索の作成
令和2年度事業内容【計画】 観光客等向けのわかりやすい公共交通利用の研究	
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>次回の善光寺御開帳、城山公園の再整備と信濃美術館の建て替えを控え、善光寺や信濃美術館（長野県立美術館）等を一体の観光資源ととらえてPRしていく必要が生じている。また、外国人観光客が年々増加しているが、電車からバスへの乗り継ぎが分かりにくいなどの課題がある。</p> <p>長野駅周辺の環境の変化や、現状に即さない案内サインが見受けられることから、市民、観光客、外国人など、長野駅（善光寺口・東口）の利用者にとって分かりやすい案内サインの再整備を行う。</p>	
スケジュール	<p>令和4年度の御開帳を視野に入れ、観光客等が公共交通を利用しやすい案内サイン整備を計画的に進める。</p> <p>長野駅周辺案内サイン再整備に向けて、関係機関との検討を行う。</p>
令和2年度の実施内容【結果】	
<p>✓ 長野駅善光寺口周辺の案内サインについて、都市政策課が中心となり関係各所と連携しながら整備を実施中。</p>	

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	7 新たな交通システムの導入検討
令和2年度事業内容【計画】 バス高速輸送システム（BRT）の導入検討	
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>・BRT導入の可能性について、現状や課題を把握し、より具体的かつ現実的な検討を進める。</p>	
スケジュール	<p>令和元年度の導入検討基礎調査の成果に基づき、交通事業者・識者との意見交換等による検討を実施し、今後の進め方や方向性を見出す。</p>
令和2年度の実施内容【結果】	
<p>✓ 令和元年度に実施した「BRT導入検討基礎調査」の成果について、交通事業者や学識経験者と意見交換し、導入の可能性の検討を行った。</p> <p>✓ 引き続き、導入費用などについて調査・検討を進める。</p>	

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	1 交通結節、乗継ぎ環境の向上
事 業	3 パーク&ライド、サイクル&ライドの施設整備
令和2年度事業内容【計画】	バス路線沿線の公共施設駐車場等を活用した、パーク・サイクル&ライド事業の検討
<p>バス利用促進に向け、パーク&バスライド（P&BR）用の駐車場整備が有効な手段の一つであるが、敷地確保に多額の経費が見込まれるなど、適地への整備が進まないのが現状である。</p> <p>一方、幹線バス路線周辺の公共施設は、十分な広さの専用駐車場等を備えている場合があることから、公共用地活用に向けて、適切な施設へ試験的に設置することを検討する。</p>	
スケジュール	「ながのスマート通勤応援事業」として取り組みを行う。
令和2年度取組内容【結果】	
<p>✓ 「ながのスマート通勤応援月間」の取組として、長野市立博物館用地を活用したサイクル&バスライド、JR今井駅付近の公共用地を活用したパーク&レールライド等を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「3密」を想起させるバス利用等に対する不安感が増す中、公共交通の積極的利用を図るパーク・サイクル&ライドについては、その実施を中止した。</p> <p>✓ 長野市南部地区（篠ノ井・松代・川中島・更北）住民を対象にパーク・サイクル&ライドを含めた通勤手段の転換に関する意識調査を実施した。</p> <p>（「通勤手段等に関するアンケート」の調査結果（概要）資料について、本計画末尾に掲載）</p> <p>✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を注視しつつ、丹波島橋の交通渋滞緩和への寄与も期待される「篠ノ井駅」におけるパーク&レールライド等、公有地を活用した事業を引き続き検討する。</p>	

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	2 自転車利用と公共交通の連携
事 業	1 自転車利用環境の整備
令和2年度事業内容【計画】	自転車の利活用に向けた施策の推進
<p>令和元年度に、「安全で安心な自転車通行空間の整備を推進し、自転車を活用した魅力あるまちづくり」を目指した取り組みを行うことを目的として、自転車活用推進計画（案）を策定した。</p> <p>令和2年度は、5月末に本計画（案）のパブリックコメントを実施し、8月の公表を予定している。</p> <p>計画策定後は、庁内関係部署と連携を図りながら、本計画の目標像を達成するため、4つの基本方針に基づき施策を展開する。</p> <p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 通勤・通学や買い物などで、自転車が日常的に利用されている。 ➤ 移動距離が5km以内の場合は、自転車が最有力候補となっている。 ➤ 自転車が安全に安心して利用できる“まち”となっている。 <p>【基本方針】</p> <p>① 自転車を活用したライフスタイルの定着</p>	

② 自転車通行空間等の整備 ③ 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進 ④ 自転車を活用した観光振興	
スケジュール	(交通政策課) ○自転車の利用促進につながる広報と啓発 ○市営自転車駐車場の管理・運営 (道路課) ○自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備 (地域活動支援課) ○世代に応じた交通安全教育の場の提供 ○季別の交通安全運動等における該当啓発活動の実施 ○自転車保険加入の促進 (観光振興課) ○新たなサイクリングモデルコースを設定し、インターネット等の各種メディアによる情報発信
令和2年度の実施内容【結果】	
✓ 市内高校等へ自転車の適正利用ポスターの配布（5月） ✓ 自転車活用を含めた効果的な運動について、運動講座や運動相談等を活用した情報提供の実施 （参加人数：運動講座 92 人、運動相談 10 人） ✓ 朝陽駅自転車駐車場へ防犯カメラ設置（10 月） ✓ 長野駅・篠ノ井駅東口自転車駐車場ラックメンテナンスの実施（11 月） ✓ 優先整備路線の詳細設計を実施（5 路線 5.5 km） ✓ 千曲川新道 自転車道・遊歩道整備（松代地区 L=1.0 km、若穂地区 L=0.5 km） ✓ シミュレーターやスケアードストレート方式による交通安全教室の開催（7 月） ✓ 自動車教習コースを使用した保護者向け自転車交通安全教室の開催（9 月 参加者：市内 43 校） ✓ 季別の交通安全運動を活用した人波ロード作戦の実施（7 月） ✓ 市内全高校に対し、自転車ルールの遵守と損害賠償事例、保険加入を促すポスターを配布（4 月） ✓ 長野県、新潟県、富山県にまたがる信越高原サイクリングモデルコースの造成とウェブサイト上への公開 ✓ サイクリスト目線を重視したサイクリングモデルコースの造成と専用ウェブサイト「NAGANO CYCLING」の新設	

実施項目	3 利用促進
施策	1 全市民を対象とした意識啓発
事業	1 (仮称)「長野市公共交通の日」の設定
実施項目	3 利用促進
施策	1 全市民を対象とした意識啓発
事業	2 (仮称)「もう2回バス乗車運動」の実施

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	2 通勤・通学者に対する利用促進
事 業	1 企業・学校と連携したノーマイカー運動の促進
令和2年度事業内容【計画】	公共交通の利用促進に向けた「ながのスマート通勤応援事業」の実施
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>本事業は、自家用車から環境負荷が少ない電車やバス、自転車などに、自発的に転換を促す「エコ通勤」の普及・促進を図るとともに、時差出勤やフレックスタイムの導入によるピークシフト対策を併せて実施することで、市民がストレスなく通勤ができるよう支援するもの。</p> <p>また、公共交通へ転換することにより、地域公共交通の確保・維持と利用促進が図られるとともに、渋滞が発生する通勤時間帯の自動車の通行量を抑制することで、渋滞緩和につながることも期待できる。</p> <p>本事業を推進する機会として、令和元年に引き続き「ながのスマート通勤応援月間」を設ける。 実施時期や取組は、令和元年東日本台風により中止となったが令和元年度の準備状況を考慮し検討を行う。</p> <p>実施主体は、長野市公共交通活性化・再生協議会、取組等の検討・決定は「エコ通勤推進部会」とする。</p> <p>✓ 「ながのスマート通勤応援月間」を設けて取り組む内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ パーク（サイクル）・アンド・ライド駐車場の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・バスライド・・・バス路線沿線の公共施設等 ・レールライド・・・今井駅東口の市有地等 ・サイクル・アンド・ライド・・・バス路線沿線の公共施設等の自転車駐車場 ◆ ICカードKURURU（くるる）1ヶ月間お試し定期券の発行と特別ポイント付与の検討 ◆ 企業等との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業・・・通勤時の公共交通への転換、時差出勤等 ◆ 南部地域住民へのアンケートの実施 ◆ マスコミを通じた市民等への周知 ◆ 渋滞長調査 <ul style="list-style-type: none"> ・丹波島橋周辺のバス専用レーン 3路線 <p>令和元年の応援月間取組準備で企業の取組への協力は困難であり、市民のエコ通勤への転換も容易でなかったことから、取組への参加や協力いただく方法等を工夫する。</p>	
スケジュール	「長野スマート通勤応援月間」実施を立案し、企業や市民等への周知を行う。
令和2年度取組内容【結果】	
<p>✓ 「ながのスマート通勤応援月間」を設けて取り組む内容として、以下事業を計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ パーク（サイクル）・アンド・ライド駐車場の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクル・アンド・バスライド・・・長野市立博物館用地を活用し実施 ・レールライド・・・今井駅東口の市有地等を活用し実施 ◆ ICカードKURURU（くるる）1ヶ月間お試し定期券の発行と特別ポイント付与の検討 ◆ 企業等との協働 	

<p>・市内企業・・・通勤時の公共交通への転換、時差出勤等</p> <p>◆ 南部地域住民へのアンケートの実施</p> <p>◆ マスコミを通じた市民等への周知 ほか</p> <p>✓ 9月8日～18日 書面協議により、第3回「エコ通勤推進部会」開催</p> <p>✓ 4月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「3密」を想起させるバス利用等に対する不安感が増す中、公共交通の積極的利用を図るパーク（サイクル）・アンド・ライド及び企業等との協働事業について、その実施を中止</p> <p>✓ 10月1日 「広報ながの」により公共交通利用促進PR 「みんなで対策をして公共交通を利用しましょう」</p> <p>✓ 市ホームページにおいて、動画「コロナに負けない -新たな日常のすすめ 公共交通編-」公開、交通事業者各社の感染防止対策等を紹介</p> <p>✓ 10月1日～11月30日 ICカードKURURU（くるる）お試し定期券発行事業実施 （通勤手段を転換した利用者について、1ヶ月定期の場合は1,000ポイント、3ヶ月定期の場合は3,000ポイントを付与） （申込人数：1ヶ月定期 5人、3ヶ月定期 4人 計9人）</p> <p>✓ 11月20日～12月4日 「通勤手段等に関するアンケート」実施</p> <p>調査目的等 長野市南部地域住民の通勤実態、通勤手段の転換に関する意識、新型コロナウイルス感染拡大に伴う通勤への影響等を調査把握し、公共交通の利用促進や通勤時の道路渋滞緩和に向けた施策立案の基礎資料とする</p> <p>調査対象 市南部地域（篠ノ井・松代・川中島・更北）在住の19歳以上70歳未満の市民 （対象人数；4地区計 約72,500人）</p> <p>標本総数 2,000人</p> <p>標本回収状況 866人（回収率 3.3%）</p> <p>※ 「通勤手段等に関するアンケート」の調査結果（概要）資料について、本計画末尾に掲載</p>

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	3 若年者を対象とした利用促進
事 業	1 バスの乗り方教室の開催
令和2年度事業内容【計画】	小学2年生を対象としたバスの乗り方教室の継続的な開催
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>市内の小学校に呼びかけ、2年生を対象に、バス事業者と協力して「バスの乗り方教室」を開催し、小さい頃から、バスに親しむきっかけを育むもの。</p>	
スケジュール	令和元年度 校長会を通じて依頼済み。 14校で開催予定。
令和2年度取組内容【結果】	<p>✓ 市内の小学2年生を対象としたバスの乗り方教室を開催した。 バス事業者と協力し、豊栄小学校など14校、29学級、約800人を対象に実施した。</p> <p>✓ 開催した各校から大変好評をいただいた。</p>

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	4 高齢者に対する利用促進
事 業	2 高齢者を対象としたイベントの企画
令和2年度事業内容【計画】	高齢者を対象とするバスの乗り方教室の開催
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>市内老人クラブ等呼びかけて実施する。教室の開催に合わせて、おでかけパスポートの新規発行やチャージを行い、路線バス等の利用の促進を図る。</p>	
スケジュール	令和2年度 4ヶ所で開催予定
令和2年度の取組内容【結果】	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 古里、柳原、川中島、更北の4地区を対象に、2か所の会場で合計38人の参加があった。（新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数は減となった。） ✓ 教室の開催に合わせて、おでかけパスポートの新規発行やチャージを行い、利用促進を図った。 ✓ 乗り方教室実施後のアンケートでは、「増えた・少し増えた」理由として、「おでかけパスポートを所持するようになったため」や、「バスの乗り方を理解したため」、「運賃が安いため」、「バス路線が分かるようになったため」となっていることから、乗り方教室を開催した効果が表れている。 ✓ バスを利用していない理由として、「外出は、徒歩または自転車、バイク・自家用車を利用している」が最も多く、その他の理由では、「目的地に直接行く路線バスがない」、「利用したい地域・時間にバスが運行していない」となっている。 ✓ 今後、どのようにすれば、おでかけパスポートを使って乗車するのかは、「高齢者に分かりやすい路線図・運賃表の作成と配布」が多く、その他には「各バス路線の乗車区間の運賃表の作成・配布」や、「観光施設等と共同した割引プレゼント等の実施」との要望があった。

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	1 交通結節、乗継ぎ環境の向上
事 業	2 バリアフリー化の推進
令和2年度事業内容【計画】	鉄道駅のバリアフリー化等の推進（しなの鉄道株式会社）
<p>「移動等円滑化の促進に関する基本方針」等に定められた整備目標の実現及び駅の利用環境の向上を目指し、鉄道駅施設の改修を実施する。</p> <p>対象駅（現状）しなの鉄道北長野駅（エレベーター等未設置、和式トイレのみ）</p> <p>〃 三才駅（和式トイレのみ）</p>	
スケジュール	<p>しなの鉄道三才駅 トイレ洋式化</p> <p>しなの鉄道北長野駅 エレベーター等設置、トイレ洋式化</p>

令和2年度の取組内容【結果】	
✓	(三才駅 令和元年12月4日 トイレ供用開始済)
✓	北長野駅 令和2年9月11日 エレベーター供用開始
	〃 12月26日 トイレ供用開始

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	4 観光客等の来訪客の回遊性向上
実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	4 運賃における利便性向上
事 業	2 観光客向け企画乗車券の検討

令和2年度事業内容【計画】	観光型 MaaS「まるっと戸隠」の企画実施（東日本旅客鉄道株式会社）
---------------	------------------------------------

<p>長野駅周辺エリアにおけるMaaS推進に向けてプロジェクトチームを発足させ、長野市と連携して、スマートフォン端末で交通と飲食で利用できる電子チケットの購入・利用、地図＋観光情報の閲覧、検索機能、デジタルスタンプラリーが一つのサービスとして利用できるデジタルサービスを行う。</p>	
--	--

スケジュール	令和3年4月25日から5月25日まで開催される戸隠神社式年大祭にあわせて実施
--------	--

令和2年度の取組内容【結果】	
✓	令和2年10月1日「北信濃MaaS」プロジェクトチームを発足、コンテンツ検討、関係者調整を実施
✓	令和3年2月18日長野市、アルピコ交通、JR東日本企画、JR長野支社の4者で「戸隠式年大祭におけるデジタルチケットサービス実施に関する協定」を締結
✓	デジタルサービスの名称を「まるっと戸隠」に決定
✓	電子チケットの内容を決定。交通電子チケットはアルピコ交通と連携し、既に発売している「戸隠・善光寺1日周遊きっぷ」と「善光寺・松代1dayパス」をデジタル化すると共に、戸隠式年大祭期間のみ発売する「戸隠・善光寺・松代2日間フリーきっぷ」を新たに設定、デジタル化。飲食チケットは、戸隠の対象そば店舗が「まるっと戸隠」限定で発売するオリジナルそばセット「清明（さやけ）そば」を設定。支払方法はクレジットカード決済に対応
✓	令和3年3月23日JR東日本のセキュリティに対応したWebサイトを立ち上げ、観光情報機能、検索機能の利用開始
✓	電子チケットは令和3年4月23日から5月25日までの期間販売。デジタルスタンプラリーは4月25日から5月25日まで実施

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に係る公共交通事業者支援

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	1 鉄道・民間バス路線の運行維持

ア 新型コロナウイルス感染症拡大の状況等

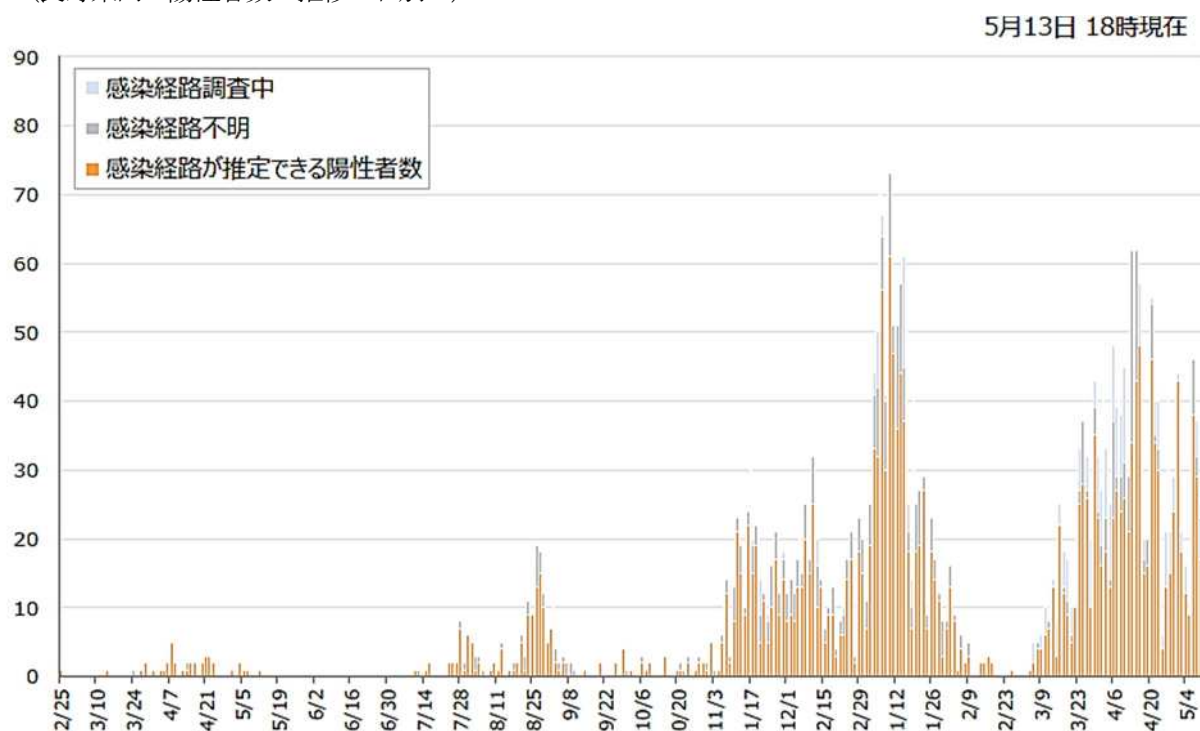
令和2年1月の国内初の感染者確認以来、「新型コロナウイルス感染症対策本部」の設置等、国レベルの対応が本格化したが、2月にはクルーズ船内の集団感染が判明し、3月以降は感染経路不明の患者が増加するとともに一部地域では感染拡大がみられたため、3月28日に政府新型コロナウイルス感染症対策本部から「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が発出された。この中で外出自粛要請を中心とするまん延防止対策等とあわせ、社会機能の維持として公共交通を含む公益的事業の継続が掲げられた。

その後も各地で感染拡大の傾向がみられたことから「全国的大規模かつ急速なまん延により、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある事態」との認識の下に、4月には緊急事態宣言が発出（4月7日 7都府県対象、4月16日 対象を全国に拡大、5月25日までに全国で解除）され、以降も新規感染者の数は波状に増減を繰り返す状況にあった。令和2年11月から令和3年年初にかけては感染者が急増し、再び緊急事態宣言が発出（1月7日 1都3県対象、1月13日 7府県追加、合わせて11都府県対象に拡大、3月21日までに対象都府県で全て解除）されるなど、新型コロナウイルス感染症がもたらす社会的影響は拡大・長期化し、公共交通についても現在に至るまで広範囲に需要減少が継続している状況にある。

このような中、通勤・通学・通院・買い物等の市民生活や経済活動に不可欠な移動手段の維持確保に向け、運行を継続している地域の公共交通事業者に対し支援を行った。

イ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況

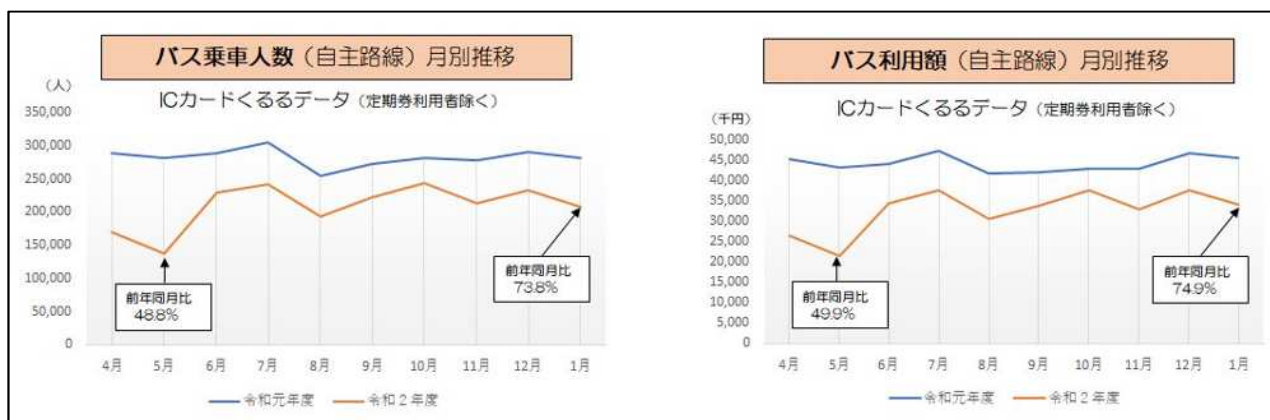
（長野県内の陽性者数の推移＜日別＞）



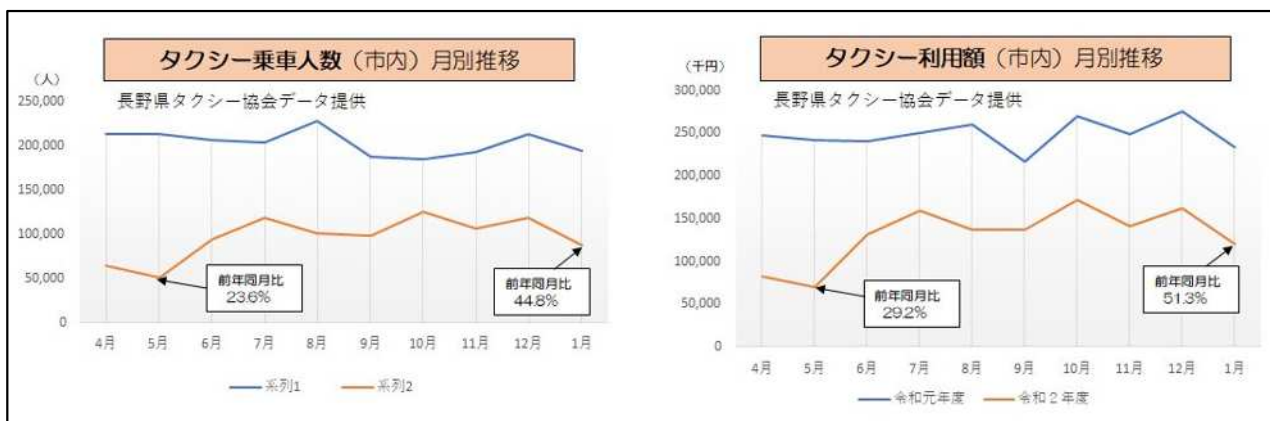
（長野県ホームページから）

ウ 公共交通機関の利用状況（前年との比較）

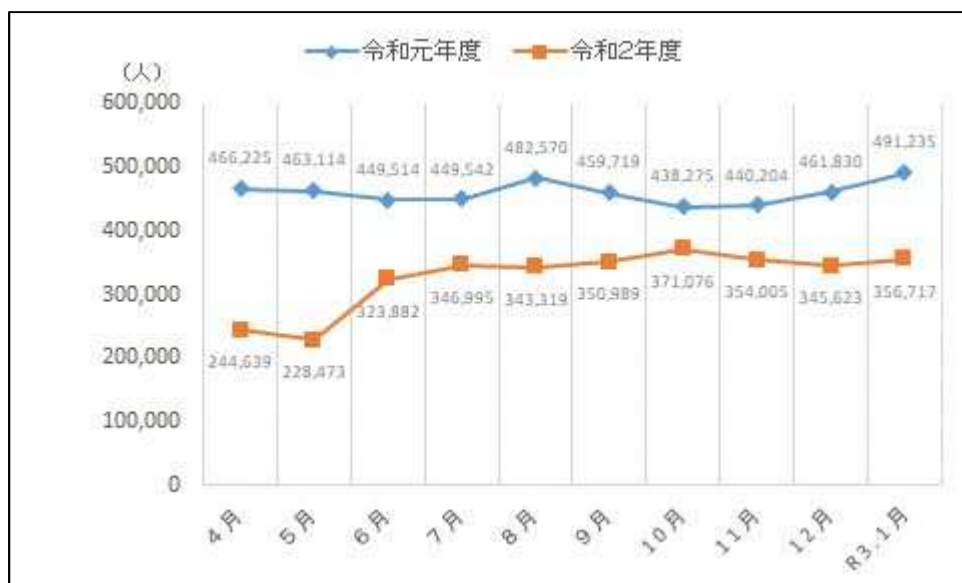
<バス>



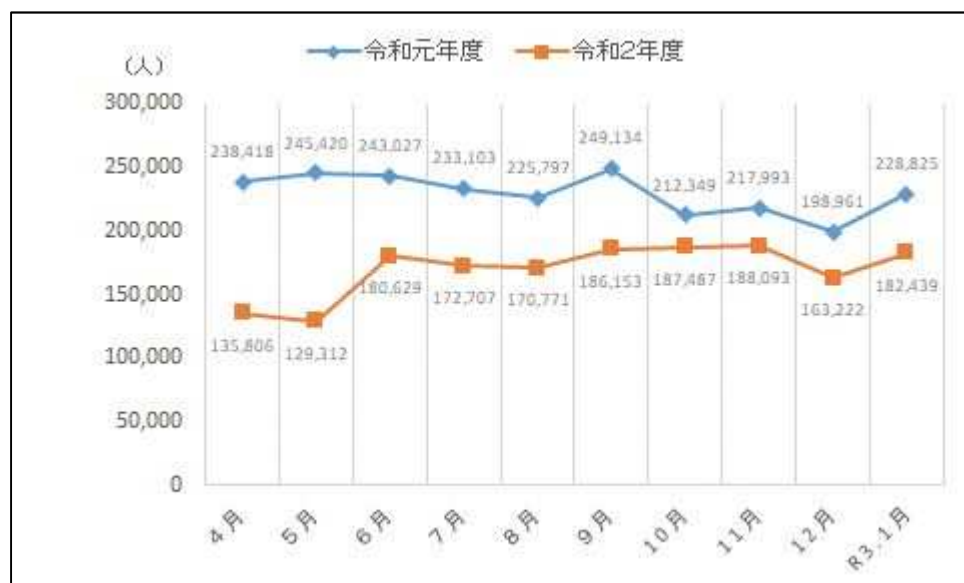
<タクシー>



<地域鉄道> 長野電鉄長野線 [長野ー柳原間(10 駅)における月別乗車人員]



＜地域鉄道＞ しなの鉄道 北しなの線 [長野―豊野間(4駅)における月別乗車人員]



エ 行政支援の状況

【令和2年度】 ※補正予算分

項 目 等	支援金額	備 考
バス事業者に対する支援 ＜事業名＞ 路線バス運行支援事業	63,295,470円 (補助実績額)	＜対 象＞ 自主路線運行に係る経費 32 路線分 バス事業者2社
鉄道事業者に対する支援 ＜事業名＞ 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金	19,762,000円 (補助実績額)	＜対 象＞ 運行継続に係る車両の定期検査費等 鉄道事業者2社
※その他、公共交通利用促進、公共交通感染防止対策に係る広報周知活動ほか		




【令和3年度】 ※当初予算分

項 目 等	支援金額 (予算)	備 考
バス事業者に対する支援 ＜事業名＞ 路線バス・タクシー運行支援事業	120,501千円	＜対 象＞ 自主路線運行に係る経費 32 路線分 バス事業者2社
タクシー事業者に対する支援 ＜事業名＞ 路線バス・タクシー運行支援事業	26,480千円	＜対 象＞ タクシー運行及び感染防止対策経費 市内法人タクシー事業者16社 市内個人タクシー事業者62者
鉄道事業者に対する支援 ＜事業名＞ 地域鉄道運行支援事業	34,000千円	＜対 象＞ 長野電鉄長野線及びしなの鉄道 北しなの線運行に係る経費 鉄道事業者2社

3 指標一覧

(1) 第五次長野市総合計画

【アンケート指標】

指標名	指標値				
公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている 【環境に対する回答】	現状値	35.7%		目標値 (R3)	
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	33.9%	31.9%	30.4%	34.5%	
通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している 【回答者の実践状況】	現状値	26.4%		目標値 (R3)	
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	27.2%	24.2%	22.1%	21.3%	
公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている 【回答者の実践状況】	現状値	50.4%		目標値 (R3)	
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	55.9%	48.4%	47.8%	49.3%	

【統計指標】

公共交通利用回数 市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	現状値	128.5 回/人 (H26)		目標値 (R3)	132.1 回/人
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	139.0 回/人	139.4 回/人	137.0 回/人	—	

参考：H28 年度 139.8 回/人

(2) 長野市公共交通ビジョン・長野市地域公共交通網形成計画

公共交通のカバー圏域人口の割合 (鉄道 600m バス 300m 圏内)	現状値	84.4% (H25)		目標値 (R3)	85.5%
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	令和 3 年度に調査				
バスサービスについての満足度	現状値	28.1% (H25)		目標値 (R3)	37%
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	令和 3 年度に調査				
KURURU (IC カード) 利用件数 (参考：H28 年度 推定値 4,700 千件)	現状値	4,532,387 件 (H27)		目標値 (R3)	5,183,000 件
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	4,610,098	4,556,197	4,396,748	3,419,332	
駅バリアフリー化	現状値	9 駅 (H28)		目標値 (R3)	12 駅
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
	10 駅	10 駅	12 駅	12 駅	

ノンステップバスの導入率	現状値		36.6% (H28)		目標値 (R3)	60%
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	
	43.5%	44.3%	46.5%	47.3%		
公共交通利用回数	第五次長野市総合計画基本計画の指標と共通					

(3) 進捗管理の年間スケジュール

本計画（網形成計画）の進捗管理については、毎年度末（3月）に開催される長野市公共交通活性化・再生協議会において、次年度分の実施計画の暫定版をお示しします。その際、指標や参考資料等の実績は、その時点での最新のものを掲載することとします。

その後、夏までに確定した数値の確定版をお示しします。

4 運行方法見直し基準

急速な人口減少・高齢化の進展、またモータリゼーションの発展に伴い、公共交通の利用者の減少や運行経費の増加に歯止めが掛からない状況となっており、不採算路線の廃止等による交通空白地域の拡大等が懸念されています。

一方では、高齢者を中心に運転免許証の返納等により、公共交通の充実を求める意見も数多く寄せられています。

しかし、路線の新設、廃止や見直しに関しての適否を判断する統一的な基準がないため、現在の運行路線や公費負担（補助金額）等が、適正であるか否かが判断できない状況となっています。それを判断するツールの一つとして、運行方法見直し基準を作成しました。

作成にあたっては、市街地と中山間地域の地域特性、使用車両の大きさ、また人口減少等の社会的要因等も考慮しながら作成しました。

令和元年度の実施内容

- ✓ 運行方法見直し基準を、一部の路線の運行内容等の見直しに活用した。

令和2年度の実施内容

- ✓ 見直し基準を活用し、また、利用実態や事業者の現状を鑑み、見直しや廃止対象とする路線を検討した。

令和3年度の実施内容

- ✓ ICカードデータから利用実態の分析を進めるとともに、見直し基準を活用して見直しや廃止対象とする路線を検討する。
- ✓ 事業者や関係機関と協議しながら運行内容を精査して、地元との協議を開始する。

5 令和3年度の主な取組

(1) 体系

実施項目	施策	事業	実施主体
実施項目 1 地域における公共交通網の確保・維持	1 平坦部における公共交通網の確保・維持	1 鉄道・民間バス路線の運行維持 R3	運行事業者
		2 コミュニティバスの運行維持・見直し	行政・市民・運行事業者
		3 交通結節の強化によるネットワーク化	行政・運行事業者
		4 観光客等の来訪者の回遊性向上 R3	行政・運行事業者
		5 タクシーとの連携 R3	行政・運行事業者
		6 北しなの線への新駅設置の検討	行政・運行事業者
		7 新たな交通システムの導入検討 R3	行政・運行事業者
	2 中山間地域における公共交通網の確保・維持	1 中山間地域間幹線の運行	行政・運行事業者
		2 地域が主体となった公共交通の検討 R3	地域・運行事業者・行政
	3 運行方法見直し基準の作成	1 運行方法見直し基準の作成	行政
実施項目 2 利用環境の整備	1 交通結節、乗継ぎ環境の向上	1 交通結節、乗継ぎ拠点の整備	行政・運行事業者
		2 バリアフリー化の推進	行政・運行事業者
		3 パーク&ライド、サイクル&ライドの施設整備 R3	行政・運行事業者
	2 自転車利用と公共交通の連携	1 自転車利用環境の整備 R3	行政・運行事業者
		2 自転車利用者への情報発信	行政
		3 サイクルラックの導入検討	行政・運行事業者
	3 バスの速達性、定時性の向上	1 バス専用レーン、優先レーンの整備	行政・運行事業者
		2 PTPS の導入の研究	行政・運行事業者
	4 運賃における利便性向上	1 おでかけパスポートの維持	行政・運行事業者
		2 観光客向け企画乗車券の検討 R3	行政・運行事業者

			3	新たな運賃施策の調査・研究	行政・運行事業者
実施項目 2 利用環境の整備	5	IC カードの利便性向上	1	利用範囲の拡大	行政・運行事業者
			2	電子マネー機能の検討	行政・運行事業者
	6	情報提供環境の整備	1	わかりやすい乗継・路線検索の作成	運行事業者・行政
			2	バスロケーションシステム等の調査・研究	行政・運行事業者
	7	自動車の流入抑制	1	中心市街地における自動車流入抑制検討	行政
実施項目 3 利用促進	1	全市民を対象とした意識啓発	1	(仮称) 「長野市公共交通の日」の設定 R3	行政
			2	(仮称) 「もう2回バス乗車運動」の実施 R3	市民・運行事業者
	2	通勤・通学者に対する利用促進	1	企業・学校と連携したノーマイカー通勤の促進 R3	企業・行政・運行事業者
	3	若年者を対象とした利用促進	1	バスの乗り方教室の開催 R3	行政・運行事業者
			2	バス見学会等の企画	行政・運行事業者
			3	小中学生啓発向け冊子の作成、配布	行政・運行事業者
	4	高齢者に対する利用促進	1	高齢者に対する情報発信	行政・運行事業者
			2	高齢者を対象としたイベントの企画 R3	行政・運行事業者
	5	地域における利用促進	1	沿線住民の住民自治協議会等による利用促進とその支援	地域・行政・運行事業者
評価・検証の実施	評価・検証の実施				行政・運行事業者・協議会

R3

令和3年度に優先的に取り組む事業



これまでに一定の成果を得た取組

(2) 令和3年度に優先的に取り組む事業

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	4 観光客等の来訪者の回遊性向上
令和3年度事業内容【計画】 観光客等向けのわかりやすい案内板等の研究	
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>今回の善光寺御開帳、城山公園の再整備と信濃美術館（長野県立美術館）の建て替えを控え、善光寺や長野県立美術館等を一体の観光資源ととらえて PR していく必要が生じている。また、外国人観光客が年々増加しているが、電車からバスへの乗り継ぎが分かりにくいなどの課題がある。</p> <p>長野駅周辺の環境の変化や、現状に即さない案内サインが見受けられることから、市民、観光客、外国人など、長野駅（善光寺口・東口）の利用者にとって分かりやすい案内サインの再整備を行う。</p>	
スケジュール	<p>令和4年度の御開帳を視野に入れ、観光客等が公共交通を利用しやすい案内サイン整備を計画的に進める。</p> <p>長野駅善光寺口案内サインの再整備は令和3年度中に完了予定。</p>

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	7 新たな交通システムの導入検討
令和3年度事業内容【計画】 バス高速輸送システム（BRT）の導入検討	
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BRT 導入の可能性について、現状や課題を把握し、より具体的かつ現実的な検討を進める。 	
スケジュール	導入費用などについての調査に向けて、事業者や学識経験者などと今後の進め方や方向性を検討する。

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	1 交通結節、乗継ぎ環境の向上
事 業	3 パーク&ライド、サイクル&ライドの施設整備
令和3年度事業内容【計画】 鉄道沿線沿いの公有地等を活用した、パーク&ライド事業の検討	
<p>公共交通利用促進、道路の渋滞緩和策、さらにマイカー通勤に伴う環境負荷の軽減策として、パーク&ライドは有効な手段の一つと考えられ、「長野都市圏の新たな総合都市交通計画」（平成31年）でも、交通結節点の機能強化策として地域のニーズに応じたパーク&ライドの検討が提言されているところであるが、適地における敷地確保には多額の経費が見込まれるなど整備が進まないのが現状である。</p> <p>令和2年に南部地域住民の通勤手段の転換に関する意識を調査した「通勤手段等に関するアンケート」では、</p>	

「篠ノ井駅」「今井駅」での実施を求める声があったことなどから、両駅付近の公有地等を活用したパーク＆ライド社会実験の実施を検討する。	
スケジュール	「ながのスマート通勤応援事業」として取り組みを行う。

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	2 自転車利用と公共交通の連携
事 業	1 自転車利用環境の整備
令和3年度事業内容【計画】 自転車の利活用に向けた施策の推進	
<p>令和2年度からの継続優先事業</p> <p>令和2年7月に、「安全で安心な自転車通行空間の整備を推進し、自転車を活用した魅力あるまちづくり」を目指した取り組みを行うことを目的として、自転車活用推進計画を策定した。</p> <p>計画策定後は、庁内関係部署と連携を図りながら、本計画の目標像を達成するため、4つの基本方針に基づき施策を展開している。</p> <p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 通勤・通学や買い物などで、自転車が日常的に利用されている。 ➤ 移動距離が5km以内の場合は、自転車が最有力候補となっている。 ➤ 自転車が安全に安心して利用できる“まち”となっている。 <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自転車を活用したライフスタイルの定着 ② 自転車通行空間等の整備 ③ 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進 ④ 自転車を活用した観光振興 	
スケジュール	<p>■自転車を活用したライフスタイルの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車の利用促進につながる広報と啓発 ○自転車活用を含めた効果的な身体活動・運動について啓発チラシを作成 ○職場健康通信による健康増進と自転車活用を含めた身体活動・運動について普及啓発 <p>■自転車通行空間等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○優先整備路線の詳細設計（2路線） ○千曲川新道 自転車道・遊歩道整備（松代地区 L=約1.0km） ○自転車通行可歩道への注意喚起看板の設置 ○稲荷山駅自転車駐車場屋根改修工事 <p>■安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世代に応じた交通安全教育の実施 ○年代に応じた自転車ルールブックの作成 ○季別の安全運動での思いやり運転に関する広報の実施

	<p>■自転車を活用した観光振興</p> <p>○信越高原サイクリングモデルコースをフックとした、誘客促進プロモーションを展開</p> <p>○サイクリング旅行商品を造成する旅行会社を招請しFAMツアー・商談会の実施</p> <p>○サイクリングモデルコースの追加及びウェブサイト上での情報発信</p>
--	---

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	1 全市民を対象とした意識啓発
事 業	1 (仮称)「長野市公共交通の日」の設定
実 施 項 目	3 利用促進
施 策	1 全市民を対象とした意識啓発
事 業	2 (仮称)「もう2回バス乗車運動」の実施
実 施 項 目	3 利用促進
施 策	2 通勤・通学者に対する利用促進
事 業	1 企業・学校と連携したノーマイカー通勤の促進

令和3年度事業内容【計画】	公共交通の利用促進に向けた「ながのスマート通勤応援事業」の実施
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>本事業は、自家用車から環境負荷が少ない電車やバス、自転車などに、自発的に転換を促す「エコ通勤」の普及・促進を図るとともに、時差出勤やフレックスタイムの導入によるピークシフト対策を併せて実施することで、市民がストレスなく通勤ができるよう支援するもの。</p> <p>また、公共交通へ転換することにより、地域公共交通の確保・維持と利用促進が図られるとともに、渋滞が発生する通勤時間帯の自動車の通行量を抑制することで、渋滞緩和につながることも期待できる。</p> <p>本事業を推進する機会として、「ながのスマート通勤応援月間」設定を検討する。</p> <p>実施時期や取組は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等、社会状況を考慮し検討を行う。</p> <p>実施主体は、長野市公共交通活性化・再生協議会、取組等の検討・決定は「エコ通勤推進部会」とする。</p> <p>✓ 「ながのスマート通勤応援月間」を設けて取り組む内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ パーク（サイクル）・アンド・ライド駐車場の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井駅 今井駅の市有地等を候補地として検討 ◆ IC カード KURURU（くるる）お試し定期券の発行 ◆ 企業等との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 …… 通勤時の公共交通への転換、時差出勤等の促進 ◆ マスコミを通じた市民等への周知 <p>令和元年の応援月間取組準備で企業の取組への協力は困難であり、市民のエコ通勤への転換も容易でなかったことから、取組への参加や協力いただく方法を工夫する。</p>	
スケジュール	「長野スマート通勤応援月間」実施を立案し、企業や市民等への周知を行う。

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	3 若年者を対象とした利用促進
事 業	1 バスの乗り方教室の開催
令和3年度事業内容【計画】	小学2年生を対象とした「バスの乗り方教室」の継続的な開催
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>市内の小学校に呼びかけ、2年生を対象に、バス事業者と協力して「バスの乗り方教室」を開催し、小さい頃から、バスに親しむきっかけを育むもの。</p>	
スケジュール	令和3年度 校長会を通じて依頼済み。14校で開催予定。

実 施 項 目	3 利用促進
施 策	4 高齢者に対する利用促進
事 業	2 高齢者を対象としたイベントの企画
令和3年度事業内容【計画】	高齢者を対象とする「バスの乗り方教室」の開催
<p>令和元年度からの継続優先事業</p> <p>市内老人クラブ等と呼びかけて実施する。教室の開催に合わせて、おでかけパスポートの新規発行やチャージを行い、路線バス等の利用の促進を図る。</p>	
スケジュール	令和3年度 4カ所で開催予定

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	1 鉄道・民間バス路線の運行維持
令和3年度事業内容【計画】	新規廃止路線代替バスの運行に係る検討
<p>新規廃止路線バス（北屋島線、犀北団地線、小市線）の運行内容について、関係地域住民等の意見を聴取しながら、バス事業者と調整を重ね、経費削減を図ったダイヤでの運行を検討する。</p>	
スケジュール	令和3年10月から新規ダイヤによる運行を開始予定

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	1 平坦部における公共交通網の確保・維持
事 業	5 タクシーとの連携
令和3年度事業内容【計画】	乗合タクシー活用に係る検討
バス路線などではカバーできない交通空白地域へ乗合タクシーなどの導入を検討する。また、M a a s 構築に向けてA I 乗合タクシーについても調査・検討を進める。	
スケジュール	運行する地域の選定とともに導入の可能性についてタクシー協会と検討を行う。

実 施 項 目	1 地域における公共交通網の確保・維持
施 策	2 中山間地域における公共交通網の確保・維持
事 業	2 地域が主体となった公共交通の検討
令和3年度事業内容【計画】	中山間地域輸送システムの見直し
現在の運行方法が地域にあったものであるかを利用実態などから検証し、運行方法の見直しを進める。	
スケジュール	地域との協議とともに利用実態を把握するため利用者アンケートなどを実施する。

実 施 項 目	2 利用環境の整備
施 策	4 運賃における利便性向上
事 業	2 観光客向け企画乗車券の検討
令和3年度事業内容【計画】	A C長野パルセイロ誘客事業の実施（しなの鉄道株式会社）
A C長野パルセイロのホームゲームへの誘客を図るため、企画乗車券を販売する。 企画（セット）内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆ しなの鉄道線小諸～篠ノ井駅間のフリー乗車券（当日に限り有効） ◆ 篠ノ井駅～長野Uスタジアムまでのシャトルバス往復券 ◆ A C長野パルセイロトップチーム・リーグ公式戦自由席入場券（ホームゲーム） 	
スケジュール	J 3 シーズンに合わせて発売予定

6 路線・地域ごとの交通網の課題と今後想定される方向性の概要

※市補助金等の数値は、未確定のため、令和元年度実績を計上しています。

(ア) 地域間幹線

【単位 市補助額：(円)、利用者数：(人)】

路線名	市補助額(円)	利用者数	課題・今後の方向性等
高府線(2系統)	なし		国・県からの補助額 26,088,400 円(R1) ◆利用促進を図る。
鬼無里線			国・県からの補助額 19,414,800 円(R1) ◆利用促進を図る。
県道戸隠線			国・県からの補助額 22,339,400 円(R1) ◆利用促進を図る。
新町大原橋線(2系統)			国・県からの補助額 20,336,400 円(R1) ◆利用促進を図る。
屋島線			国・県からの補助額 3,783,200 円(R1) ◆利用促進を図る。
牟礼線	565,912		国・県からの補助額 11,618,400 円(R1) ◆当該路線は、飯綱町と長野市を結ぶ地域間幹線であり、平成 26 年5月に運行事業者から不採算のため路線の見直しについて申し入れがあったもの。 ◆飯綱町との協議により、適切な負担割合を決め、赤字補填を行うこととし、現在、長野市が補填の対象としているのは市内を運行する2便。今後新たな負担割合について協議する。 * 飯綱町負担分 10,274,088 円(R1) (市町計 10,840 千円)
屋代須坂線 屋代須坂線高速便 綿内屋島線	54,194,800	289,311	国・県から事業者への補助額 20,585,000 円(R1) ◆屋代須坂線は、廃線となった長野電鉄屋代線の代替となる地域間幹線系統であり、国・県の補助がある。経常損失額については、本市、千曲市及び須坂市の沿線3市で負担している。利用者が横ばいから減少傾向であり、さらなる利用促進と需要に応じた見直しが必要となっている。 * 千曲市負担分 9,621,200 円(R1) * 須坂市負担分 8,950,000 円(R1) ◆利用者が伸び悩み、沿線3市の負担は年々増加している。利用者の減少により、令和3年度の須坂駅～松代駅間の国・県補助が対象外となった。 ◆運転士不足が深刻化し、現在の運行便数の確保が困難な状況となっていることから、効率的な運行となるよう、令和2年4月からダイヤ改正を実施した。また、ダイヤ改正に併せて、(有)シンリク観光が屋代駅から松代駅の一部の便を運行することとした。 ◆綿内屋島線については利用者が増加している。

(イ) 廃止路線代替バス

【単位 収支率：(%)、市補助額：(円)、利用者数：(人)】

路線名	収支率	市補助額	利用者数	課題・今後の方向性等
新町線	49.9	9,770,000	35,681	◆信州新町と篠ノ井を結ぶ重要路線で、利用者数は減少傾向にあり、引き続き利用状況等を注視する。
川後線	18.0	15,145,000	18,233	◆小田切地区内の需要の大半は小学生の通学利用であり、平日と土曜日の利用者数に大きな格差があることから、土曜日の運行をバスからタクシーに変更する等の見直しを検討したが、現状どおりとした。 ◆中山間地域乗合タクシー「かつら号」の再編に伴い、安茂里駅まで運行区域を広げたことを受け、地区内からは、「善光寺大門」まで延伸してほしい要望が出てきている。この場合、「かつら号」利用者の増加は見込めるものの、川後線や鬼無里線の利用者が減少し、減便や廃止につながる懸念される。川後線等の路線の確保は重要であるため、現状の路線の利用を促すとともに、今後の利用状況等を見ながら対応を検討する。
赤柴線	20.7	6,481,844	3,232	◆55人乗り車両から29人乗り車両へ、また運行事業者をバス事業者からタクシー事業者に変更して運行。利用者数は減少にあり、利用状況等を注視する。
金井山線	71.7	5,169,000	41,193	◆利用者は減少傾向であるものの、一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視する。
松代篠ノ井線	42.5	4,558,000	9,622	◆地域拠点の松代と篠ノ井を結ぶ路線であるが、現状朝夕の通学通勤需要が大半を占める。 ◆平成29年9月21日に、松代・篠ノ井両地区住民自治協議会から、「篠ノ井・松代ぐるりん号」の新設等に係る要望があった。これを受けて、両地区住民自治協議会代表者及び市(交通政策課・両支所)を構成員とする検討会を平成29年12月に設け、今後の両地区を結ぶ公共交通について検討を進めている。
大豆島保科温泉線	74.6	18,434,000	160,720	◆平成28年4月から「保科温泉線」と「大豆島線」を統合し、2つのバス事業者による共同運行を開始した。 ◆利用者数は統合前に比べて減少傾向であるが、一定の需要はあるため利用状況等を注視していく。

※収支率(%)＝運賃収入／運行経費

(ウ) コミュニティバス

【単位 収支率：(%)、市補助額：(円)、利用者数：(人)】

路線名	収支率	市補助額	利用者数	課題・今後の方向性等
中心市街地 ぐるりん号	64.1	13,373,866	183,234	<p>◆民間バス路線の運行頻度が高い中央通りをぐるりん号が重複して運行することで、民間バス路線と乗客を分け合っていた。</p> <p>◆平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、より分かりやすいルートでの運行や、東西方向への移動のし易さの向上、民間路線バスとの役割分担などを目的に、運行ルート等の見直しを行った。</p> <p>◆平成 31 年 4 月から、見直し後の運行ルート等での運行を実施した。</p> <p>◆当面は現状のとおりとする。</p>
東北ぐるりん号	34.1	4,704,193	18,983	<p>◆地域に定着し、利用者数は 20,000 人前後で推移しているため、当面は現状のとおりとする。</p>
篠ノ井ぐるりん号	17.9	5,839,660	10,109	<p>◆利用者数は増加傾向にあるため、引き続き、広報活動を積極的に行い、更なる利用促進を図る。</p>
茶臼山動物園線 (ZOO ぐる)	19.7	1,236,577	1,946	<p>◆利用者数は横ばいであるため、引き続き広報活動を積極的に行い、利用促進を図るとともに運行主体の見直しを検討する。</p>

※収支率(%)＝運賃収入／運行経費

(エ) 空白型乗合タクシー

【単位 収支率：(%)、市補助額：(円)、利用者数：(人)】

路線名	収支率	市補助額	利用者数	課題・今後の方向性等
長沼線	8.0	3,450,960	2,346	<p>◆週 5 日・1 日 15 便運行と他路線と比較して高頻度で運行しているが、1 便当りの利用者数が 1 人を下回っており、運行便数等を見直しを検討する。</p> <p>◆令和元年度は、令和元年東日本台風の影響で 2 カ月程度運休した。</p>
大室・松代西条線	12.0	2,171,675	2,406	<p>◆大室線と松代西条線は別路線であるが、効率的な車両運用をするため、運行ダイヤを考慮し、1 台で運行している。</p> <p>◆大室線は方向が屋代須坂線と重複しており、運行内容の検討が必要。</p> <p>◆松代西条線の利用が少ないため、運行内容を検討する。</p>
横田・塩崎線	16.8	2,258,688	4,214	<p>◆1 便当りの利用者数が高い路線であり、後追い車両も頻繁に出ているため、車両サイズの大型化を検討する。</p>
綿内線	5.0	2,310,013	1,133	<p>◆運行収支率が悪く、運行日数や経路等を見直しを検討する。</p>
川中島線	21.4	2,022,550	4,805	<p>◆住民自治協議会の積極的な利用促進策により、近年利用者が増加している。当面は現状のとおりとする。</p>

西長野・上松線	13.1	2,241,705	2,810	<p>◆これまで慢性的に遅延が生じていたため、令和2年4月から運行便数を削減。併せて以前から要望があった「茂菅老人いこいの家までの延長」を実施した。</p> <p>◆利用者が増加傾向のため、当面は現状のとおりとする。</p>
若里・更北線	13.8	3,574,776	4,603	<p>◆平成16年4月から「若里更北ぐるりん号」として運行開始し、平成26年4月から乗合タクシーに運行形態を変更した。</p> <p>◆路線の大部分が民間事業者の自主路線と重複しているため、見直し等の検討が必要である。</p>
豊野3線	8.6	6,806,925	5,486	<p>◆平成16年1月の豊野町合併時に旧町営バスを市バスとして運行を引継ぎ、平成27年4月に乗合タクシーに運行形態を変更。</p> <p>◆利用者が極端に少ない予約制の上神代線の運行内容を中心に、運行内容を検討する。</p>
松代観光地線	2.7	715,398	187	<p>◆平成24年4月から「松代ぐるりん号」として運行開始し、平成26年4月に乗合タクシーに運行形態を変更。他の路線とは異なり、生活路線ではなく土休日運行の観光路線の位置付けである。</p> <p>◆収支率が極めて悪く、利用者1人当りの補助額が全路線の中で最も高いため、関係機関を含めて協議を行い見直し等の検討を行う。</p>
※篠ノ井共和線	13.3	100,963	1,963	◆国庫補助のフィーダー系統補助路線に該当。
※安茂里線	18.1	560,716	3,931	◆国庫補助のフィーダー系統補助路線に該当。

※収支率(%)＝運賃収入／運行経費

(オ) 中山間地輸送システム

【単位 収支率：(%)、市補助額：(円)、利用者数：(人)】

路線名	収支率	市補助額	利用者数	課題・今後の方向性等
浅川地区 「あさかわ号」	12.3	5,446,281	3,096	<p>◆かつて運行されていた路線バス「中曽根線」を引き継ぐ「1コース」は、主要なコースを予約不要の定時定路線方式で運行しており、小・中学生の通学利用を中心に、比較的用户が多い。</p> <p>◆その他のコースは、予約制の定時定路線方式で運行しており、利用者は少ない。</p> <p>◆1コースは、路線バス「ループ橋経由戸隠線」と経路が重複している部分が多く、長期的には住み分けについて検討する余地がある。</p> <p>◆高齢者の買い物足の確保が課題となっているため、今後、地区からの要望に応じて運行ルートや時刻表の見直しの検討を行う。</p>
小田切地区 「かつら号」	4.6	1,983,204	734	<p>◆平成30年度から、予約制の定時定路線を廃止しフルデマンド化するとともに、地区住民から「買い物等の生活拠点である」として要望の強い安茂里駅まで運行できるよう再編した。</p> <p>◆予約の受付調整を初めて住民自治協議会が実施することで、予約者に、同乗や時間調整の依頼ができるようになり、円滑な運用が図られた。</p> <p>◆フルデマンド化後、利用者数は約3倍となっている。</p> <p>◆当面は現状のとおりとする。</p>
芋井地区 「すざくら号」	1.8	1,078,784	163	<p>◆平成28年12月、路線バス「バードライン戸隠線」(七曲り経由)が廃止、経路を変更して善光寺大門まで運行を開始。利用状況等注視する。</p> <p>◆県道長野戸隠線より南側の地区を運行するコースについては、これまで同様に支所前で路線バス「県道戸隠線」に接続しているが、国道406号で路線バス「鬼無里線」に接続するよう求める声もある。</p> <p>◆今後、地域のニーズや支所の建て替えを見据えて、ルート変更等の検討を行う。</p>
七二会地区 「新じんば号」	8.3	6,910,386	2,766	<p>◆平成28年度に実施した中山間地域公共交通再編モデル事業により、廃止路線代替バス「市場線」と統合して、買い物等の拠点となっている安茂里までの運行を開始し、名称を「じんば号」から「新じんば号」に変更した。</p> <p>◆再編後の検証として長野高専の協力を得て、ワークショップを開催し、課題や改善点等について意見交換を図るとともに、利用促進策について検討を行った。その結果を受けて、停留所の移設、新設、廃止を行い、併せて住民自治協議会を主体として、お茶のみサロン等での啓発活動に繋がった。</p>

				◆地区からフルデマンド化の要望があるため、利用者アンケートなどにより利用実態を把握し、今後の運行方法を検討する。
信更地区 「すずらん号」	1.7	247,187	39	◆中山間地輸送システムの中でも特に利用者が少ない路線であり、利用促進に向けてあり方を見直す必要がある。 ◆現在は予約制の定時定路線方式で運行しているが、小田切地区同様に市街地への主要経路が複数あり、利用者の集約が難しい状況であるため、より移動需要に柔軟に対応できるよう再編を検討する。
篠ノ井・信里地区 「のぶさと号」	4.2	3,600,815	1,375	◆朝夕の登下校時間帯はスクール混乗バス「信里地域バス」が、また、昼間は乗合タクシー「のぶさと号」が予約制の定時定路線方式で運行している。（学校休校日等でスクール混乗バスが運休となる日は、その代わりに予約制で同時刻に「のぶさと号」を臨時運行。） ◆他5地区と異なり「信里地域バス運行委員会」を地域内で組織し、運行主体を担っているが、役員のなり手不足が進み、地域の事務負担の大きさが課題になっている。

※収支率(%)＝運賃収入／運行経費



(カ) 市バス

【単位 収支率：(%)、市委託料：(円)、利用者数：(人)】

路線名	収支率	市委託料	利用者数	課題・今後の方向性等
戸隠地区	5.8	19,276,590	11,324	<p>◆市バスの運行ルート等を見直すことで、小学校スクールバスを廃止し、これらの利用者を市バスが吸収することとした。</p> <p>◆利用者の少ない参宮線・西部線の15時以降の便を廃止し、フルデマンドの戸隠線の車両を、1から3台に増加させ、地区内移動需要に柔軟に対応するとともに、児童の下校に利用するなどの効率化を図り運行している。</p> <p>◆福祉企業センターが支所の西に移転することに伴い、令和3年4月から路線延長及び停留所を新設し、利用者の移動手段を確保した。</p> <p>◆利用者数は減少傾向であるが一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視していく。</p>
鬼無里地区	3.2	16,250,762	4,812	<p>◆アルピコ交通(株)路線との乗継拠点について、現状の鬼無里町から「旅の駅鬼無里」に変更し、観光客等の利便性を向上させた。</p> <p>◆平成31年4月から、南鬼無里線の運行エリアの一部廃止と時刻表の見直しを行った。南鬼無里線の見直しに伴い、地域振興線の運行エリアを拡大した。</p> <p>◆利用者数は減少傾向であるが一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視していく。</p>
大岡地区	12.5	9,356,196	3,898	<p>◆定時定路線で大岡と篠ノ井を結ぶ「大岡篠ノ井線」と、フルデマンド方式「ハッピー号」による運行を行っている。</p>
大岡地区「大岡線」	8.3	13,549,750	8,897	<p>◆利用者数は減少傾向であるが一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視していく。</p>
信州新町地区	7.8	24,867,292	17,499	<p>◆市バス路線が7路線、スクール混乗が3路線で運行している。</p> <p>◆利用者数は減少傾向であるが一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視していく。</p>
中条地区	5.6	21,126,530	9,307	<p>◆定時定路線方式4路線、フルデマンド方式1路線による運行を行っている。</p> <p>◆フルデマンド方式の中条線については、利用状況等に合わせ、週5日の運行から週3日(火・木・金)にH30から再編し運行を行っている。</p> <p>◆利用者数は減少傾向であるが一定の需要はあるため、引き続き利用状況等を注視していく。</p>

※収支率(%)＝運賃収入／運行経費

§ 2 実施計画の基本事項（初年度版策定時の記載ほか）

1 策定の趣旨等

（1）背景

長野市では、本市の目指す都市及び公共交通の将来像を踏まえ、今後、形成すべき公共交通網を明らかにし、その実現を目指す計画として、平成 29 年 6 月に「長野市地域公共交通網形成計画」（計画期間 平成 29 年度～令和 3 年度までの 5 年間）（以下、「公共交通網形成計画」という。）を策定しました。

公共交通網形成計画は、平成 26 年 11 月に改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（以下、「活性化再生法」という。）に基づく法定計画であり、長野運輸支局、交通事業者、道路管理者、警察及び学識経験者等で構成される法定組織「長野市公共交通活性化・再生協議会」を中心に策定作業が進められてきたものです。

また、平成 27 年 6 月には、平成 27 年度～令和 6 年度までの 10 年間を計画期間とする「長野市公共交通ビジョン」（以下、「ビジョン」という。）を策定し、本市の公共交通の将来像を「人をつなぎ、まちを育て、暮らしを守る公共交通」と掲げています。公共交通網形成計画は、ビジョンのうち、主に 5 年以内の短期的な期間のうちに取り組むべき施策についての計画と位置づけられ、その指標の多くをビジョンと共有するなど、一体的な計画として取り組んでいくこととします。

（2）法定の地域公共交通再編実施計画や地域公共交通再編実施事業との関係

活性化再生法では、公共交通網形成計画に基づき、地域によっては既存の路線バスを廃止し市バスなどの自家用有償旅客運送によって代替するなど、地域全体の公共交通ネットワークを全面的に再編する必要があることから、「地域公共交通再編事業」を定め、これに取り組む場合には、法定の地域公共交通再編計画を策定することが求められています。

しかし、後述するように本市では、鉄道網、一般路線バスを基軸に、地域循環バス、廃止路線代替バス、空白型乗合タクシー、市営バス、福祉自動車、スクールバスといった輸送手段を、地域の需要や実情に応じて組み合わせた公共交通ネットワーク基盤がすでに形成されています。また、高齢者向けの優遇施策である「おでかけパスポート」を組み入れた「IC カード KURURU（くるる）」を運用するなど、バス乗車に係る利便性の仕組みはある程度整っており、短期的なスパンにおいては、地域全体の公共交通ネットワークを全面的に見直すのではなく、現在のネットワークサービスを前提とした利用促進や路線等の個別的な見直しを通じて、ビジョンの将来像を実現していくことが現実的な戦略と言えます。

従って、本計画は、法定の地域公共交通再編実施計画としては位置付けず、将来的に「地域公共交通再編事業」を行う必要が生じた場合には、網形成計画の見直しを含め、法定の地域公共交通再編実施計画として見直ししていくことを視野に入れて取り組みを進めます。

（3）体系計画の目的

本計画は、施策を実現するための手段【具体的な事業や取組】と、これらに取り組む工程【スケジュール】を明らかにするとともに、路線等の個別の見直しの基本方針を定め、地域ごとの交通網の課題や具体的な方向性を示すことで、公共交通網形成計画のアクションプランに位置付けるとともに、ビジョンのうち、主に 5 年以内の短期的な期間のうちに取り組む施策の実施計画としても合わせて位置付け、両計画に掲げる施策の実現に向けて計画的に取り組むことを目的とします。

（4）計画期間

本計画の期間を、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間とします。

(5)計画の進め方

限られたリソースを最大限に活用するとともに、状況等に応じたスピーディーな対応・取組が必要である実施計画の性格上、毎年度の指標の状況や社会情勢の変化、国や県の動向などを踏まえ、毎年度計画を見直すこととします。

見直しに当たっては、当該年度に特に力を入れたい施策、事業等を明らかにするとともに、成果の上がらない手段の変更、当面実現が困難なものについては、その理由を明らかにするなど、合理的に成果を求めるよう取り組みます。

2 路線等の個別の見直しの方針

「地域における公共交通網の確保・維持」として公共交通網形成計画に掲げた取組のうち、路線等個別の見直しに当たっての方針となる重要な考え方を再掲します。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 市の交通軸を担う幹線路線である民間事業者が運行する鉄道及びバス路線を持続的に運行する。② 行政は①を補完し、地域内の移動と幹線への接続を確保する。③ ②は、地域の需要量にきめ細かく対応する必要があるため、運行方法等は地域において住民が主体となって検討・見直しを行い、市はこれを支援する。 |
|---|

この方針を踏まえ、地域の移動需要に応じ時間帯等によって「定時定路線方式」と「デマンド方式」を適切に組み合わせ、効率性と利便性を両立するよう不断の見直しを行うこととします。

アンケート調査の概要

別紙資料 アンケート結果概要

長野市南部地区住民の通勤実態、通勤手段の転換可能性に関する意識、通勤に関する新型コロナウイルスの影響を調査し、公共交通の利用促進や渋滞緩和施策の基礎資料とする

令和2年11月～12月

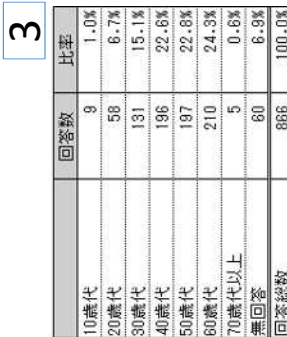
篠ノ井、松代、川中島、更北地区

住民基本台帳に登録されている19歳以上70歳未満の
市民から2,000人を無作為抽出

郵送による

866部(回收率:43.3%)

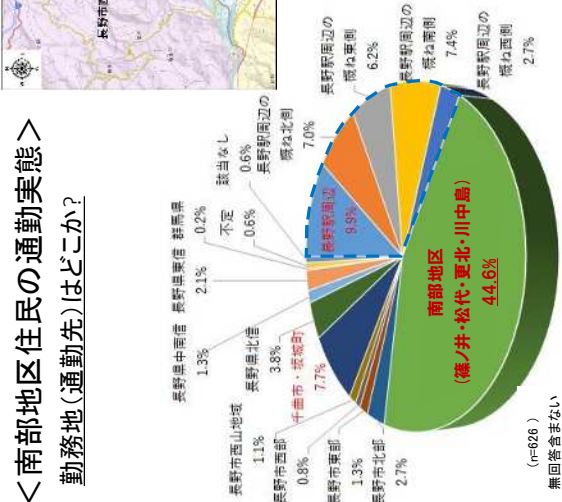
3



人口比:令和2年10月1日現在

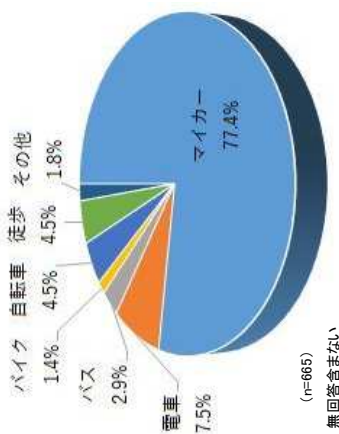
(參考)	
人口比率	34.2%
	13.2%
	23.3%
	29.3%
	-
	-
	100.0%

＜南部地区住民の通勤実態＞ 勤務地（通勤先）はどこか？



- ✓ 南部地区内の通勤が最多(44.6%)
- ✓ 次に、南部地区 ↔ 長野駅周辺の通勤が多い(9.9%) ※概ね徒歩15分の範囲
- ✓ <“長野駅周辺”から隣接する市街地まで範囲を広げると、概ね1/3 (計33.2%)>
- ✓ 次に千曲市+坂城町(7.7%)

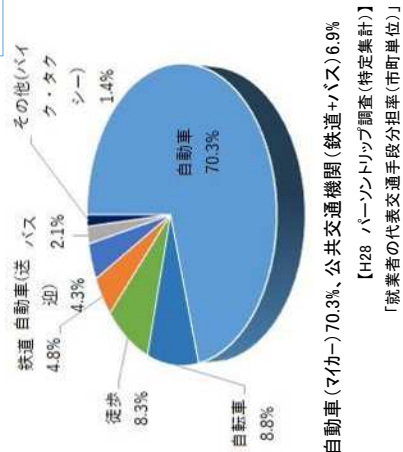
＜南部地区住民の通勤実態＞ 普段の主な通勤手段は？



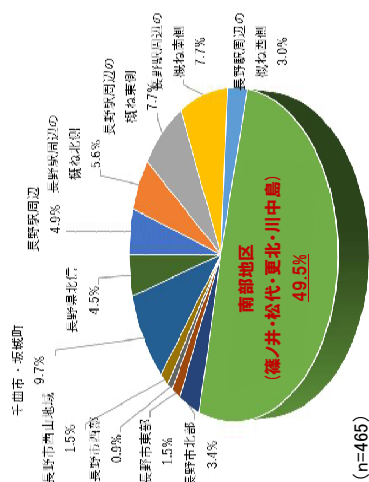
マイカー77.4%に対し、公共交通機関の利用者(電車+バス)は10.4%

✓ 長野市全体のデータと比較すると、マイカー、公共交通機関(電車+バス)利用率が高く、徒歩、自転車比率が低い

【参考】長野市全体のデータ(H28年)

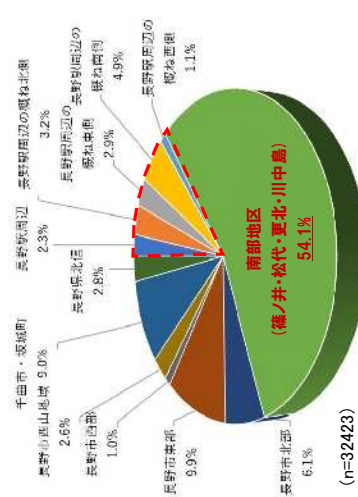
【H28 パーソントリップ調査(特定集計)】
 筆者の代表交通手段分担率(市町単位)】＜南部地区住民の通勤実態＞
マイカー利用者の勤務地（移動先）

(マイカー利用者のみ抽出)



マイカー利用かつ朝(6-8時)の時間帯に限ると、長野駅周辺中心市街地への通勤比率は2割程度

【参考】類似調査「一々」

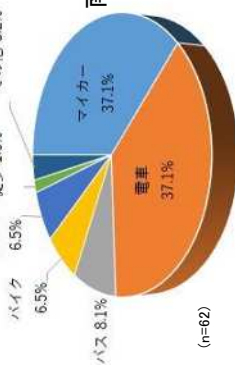
抽出条件 朝6～8時、通勤、自動車利用

＜南部地区住民の通勤実態＞

＜勤務先＞

南部地区 — 長野駅周辺

※長野駅から概ね徒歩15分の範囲



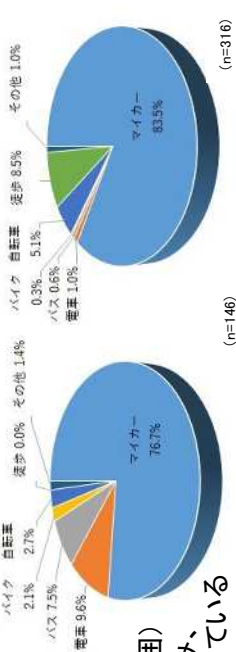
内
市
所
一
部
南

地
街
地

接
隣
地

野
馬
長

一
区
地
部
南

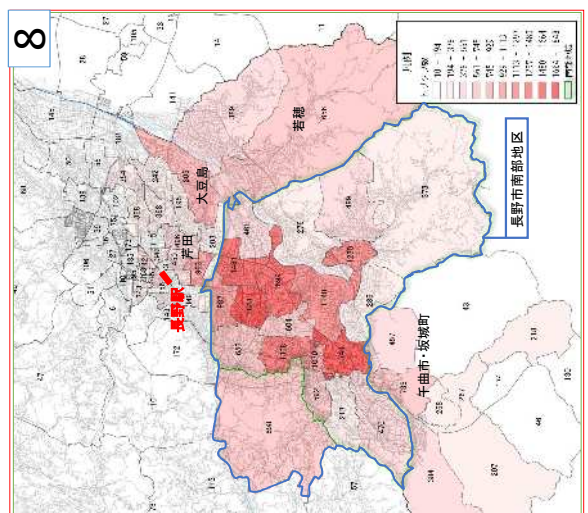


✓ 長野駅周辺(徒歩15分の範囲)
は、公共交通機関利用が進み、
マイカー通勤は3割台にとどまっている

【参考】長野都市圏PT調査データによる
南部地区からの通勤移動先

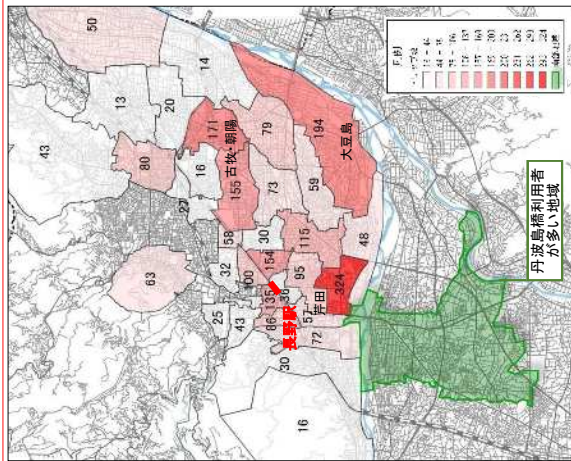
抽出条件 朝6～8時、通勤、自動車利用

通勤先	トリップ数	比率
長野駅周辺	755	2.3%
長野駅周辺の概ね北側	1,037	3.2%
概ね東側	953	2.9%
概ね南側	1,580	4.9%
概ね西側	349	1.1%
長野市南部地区	17,537	54.1%
北部地区	1,988	6.1%
東部地区	3,226	9.9%
西部地区	321	1.0%
西山地域	846	2.6%
千曲市・坂城町	2,929	9.0%
長野県北信	902	2.8%
合 計	32,423	100.0%



9

【参考】長野都市圏PT調査データによる
丹波島橋利用者の通勤移動先
～丹波島橋利用者が多いと想定される地域
を対象に、移動先を集計した結果～
＜抽出条件：朝6～8時、通勤、自動車利用＞
＜丹波島橋利用想定地域：更北地区（青木島町大塚・
細島・市場・大橋南・真島除く）
及び川中島地区（金井田・御原のみ）＞



移動先は長野駅周辺、芋田地区、
長野市東部が比較的多い

＜南部地区住民の通勤実態＞

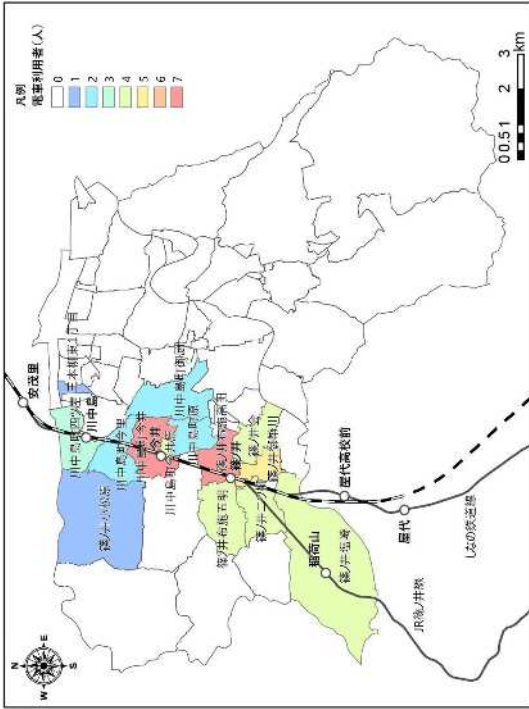
電車を利用する通勤者が
多い地域は？

居住地区	電車利用者 (人)
篠ノ井布施高田	7
川中島町今井	7
篠ノ井御幣川	5
篠ノ井会	4
篠ノ井堤崎	4
篠ノ井布施五明	4
篠ノ井ニツ柳	4
川中島町今井原	4

その他 川中島町四ツ屋 3、川中島町今里 2
川中島町藤 2、川中島町御原 2
篠ノ井小松原 1、三本柳 2、3丁目 1

電車利用者は
鉄道沿線居住者に
限られる

10



11

＜南部地区住民の通勤実態＞

普段の通勤時間は？



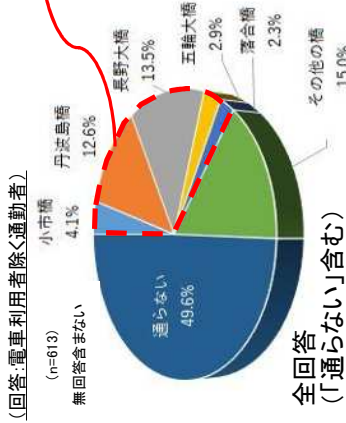
＜出勤時＞

出勤・帰宅時とも、5～6割の通勤者は所要時間30分以内、
9割は1時間以内に収まっている

帰宅時の所要時間は、出勤時と比較して、やや短くなっている

＜南部地区住民の通勤実態＞

普段、通勤時に利用する橋は？



全回答
(「通らない」含む)

12

「小市橋～落合橋」
5橋の分担率



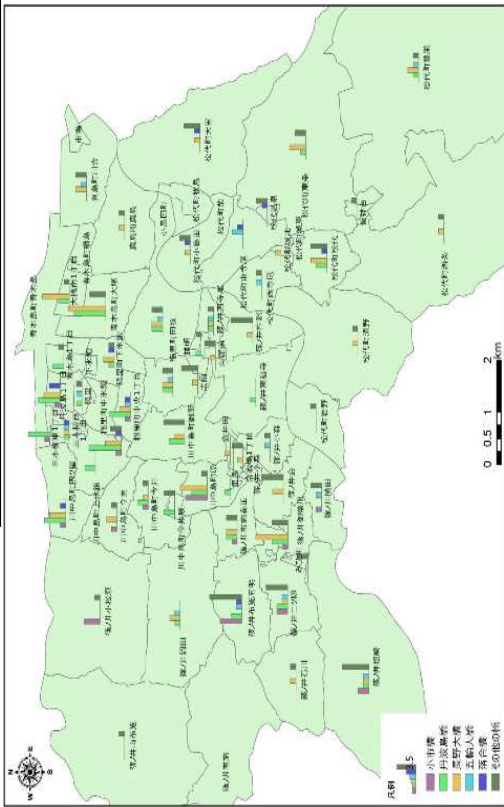
【参考】5橋の通行量データ (H27年 全国道路・街路交通情勢調査)

橋名	10月交通量(台)	10月交通量(台)	混雑度	調査地域
小市橋	9,082	11,987	1.29	安芸里小市326-3
丹波島橋	37,272	48,468	1.75	丹波島橋
長野大橋	39,124	49,687	1.14	青木島町大塚1026-3
五輪大橋	4,592	5,832	0.62	有料道路 料金所
落合橋	15,597	19,748	1.78	落合橋

※混雑度：1.00以下：道路が混雑することなく円滑に進行できる。渋滞やそれに伴う遅延はほとんど無い。
～1.25：混雑する可能性のある時間帯が1～2時間あり。何時でも混雑が継続する可能性は非常に少ない。
～1.75：ピーク時間帯はもとより一日の大部分において混雑する可能性が大幅に増加する可能性の高い状態。

南部地区住民が利用する5橋の中では、長野大橋と丹波島橋の分担率が高い
丹波島橋については、交通量、混雑度ともに高い

＜南部地区住民の通勤実態＞ 普段、通勤時に利用する橋は？(居住地区別集計)



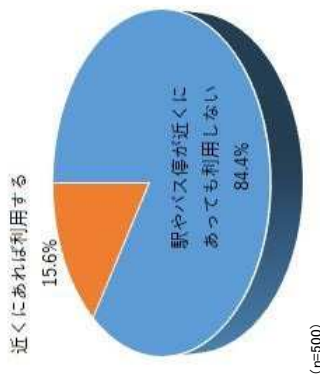
概ね、西側では小市橋、北側では丹波島橋、東側では長野大橋を利用している

13

＜公共交通への転換可能性＞

近くに駅・バス停があれば公共交通を利用するか？

(回答：マイカー通勤者のみ)



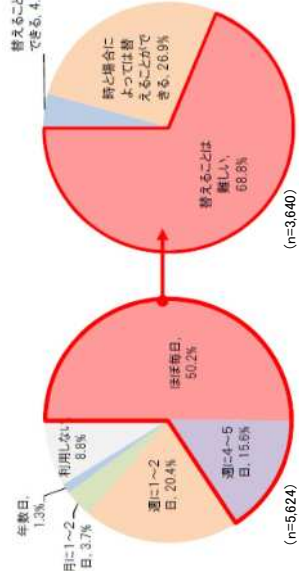
(n=500)
無回答含まない

14

【参考】類似調査データ(長野都市圏 H28年)

(長野市・須坂市・中野市・飯山市・千曲市・小布施町・信濃町・飯綱町)

「自動車はどれくらい利用するか？」
「自動車を公共交通手段に替えることはできるか？」



(n=3640)
自動車の利用
頻度が高い回答者のみ

【H28 パーソントリップ付帯調査(交通と暮らしの意識調査)】

＜公共交通への転換可能性＞ 駅・バス停がどのくらいの距離であれば利用するか？

回答：マイカー通勤者のみ

15



電車やバスの待ち時間がどの程度までであれば我慢できるか？

「条件によっては公共交通を利用する」マイカー通勤者は15%程度存在する

利用条件としては、駅またはバス停まで許容される距離が「500m・15分」(徒歩)、「1000m・10分」(自転車)、待ち時間は「15分まで」が想定される

16

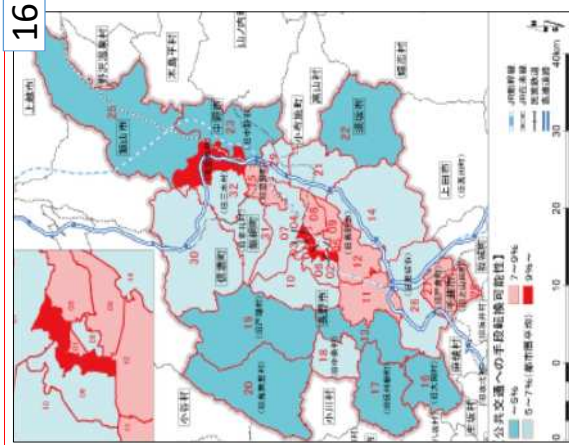
【参考】長野都市圏における「公共交通への手段転換の可能性」調査データ(H28年)

(長野市・須坂市・中野市・飯山市・千曲市・小布施町・信濃町・飯綱町)

「パーソントリップ調査の付帯調査において、自動車から公共交通への手段転換可能性を調査した。地域別に結果を見ると、交通手段を「替えることができる」とする回答は、長野市中心部などの公共交通の利便性が高い地域や、旧豊野町、旧豊田村、旧戸倉町、旧上山田町といった、鉄道沿線において多い。一方、郊外部では転換の可能性が低い。」

「長野都市圏の新たな総合都市交通計画・計画編15P」
(長野都市圏総合都市交通計画協議会 H31年)から

「11」⇒ 篠ノ井地区
「12」⇒ 川中島・更北地区等
「14」⇒ 松代・若穂地区



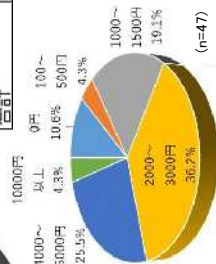
17

どこに乗り換え用の駐車場・駐輪場があれば、電車・バスに乗り換えるか？

駅	乗り換え場所	回答数
篠ノ井	丹波島橋南	3
今井	川中島交差点	2
川中島	安茂里交差点	1
長野	古戦場入口	1
安茂里	細島	1
今井又は川中島	篠ノ井	1
本郷	松代駅	1
合計	信大前(教育学部)	1
	川中島古戦場 出入口	1
	中水鉤	1
	長野駅～待合室	1
	免許センター	1
	合計	16



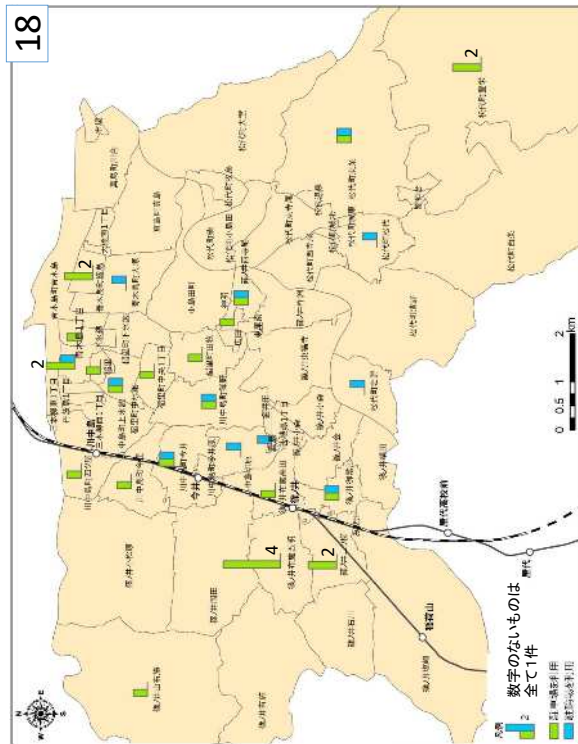
駐車料金は月額いくらであれば利用するか？



- ✓ パーク・アンド・ライドを「利用する」とした通勤者は約8%
- ✓ 具体的な箇所としては「篠ノ井駅」「今井駅」「丹波島橋南バス停」が挙げられる

＜公共交通への転換可能性＞

パーク&ライドの利用意向(居住地域別集計)



- ✓ 鉄道沿線から西側では駐車場、東側平坦部では駐輪場の利用意向がみられた

19

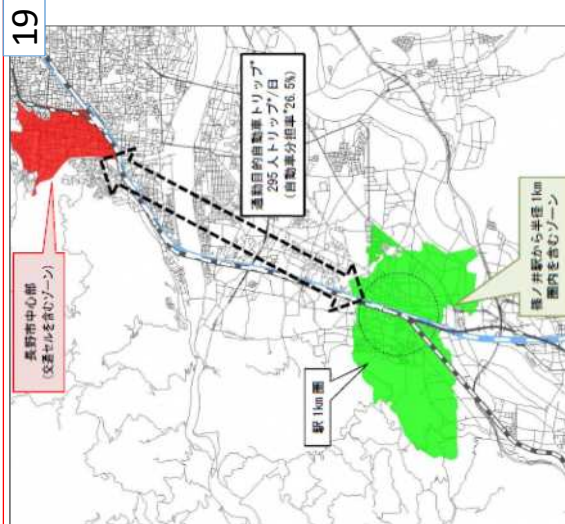
【参考】篠ノ井駅パークアンドライドの需要試算例

「パークアンドライド」の需要へ対応した施設整備の一例として篠ノ井駅付近を対象に需要を試算する。

篠ノ井駅を含むゾーンから長野市中心部への自動車利用の通勤トリップは、295人トリップ/日存在する。このすべてがパークアンドライドへ転換すると仮定すると295台のパークアンドライド駐車場が必要である。(295台とは8時台の丹波島橋上り交通量の約15%に相当)。

通勤目的自動車利用交通が他の交通手段へ転換可能とする回答は約5%であるが、パークアンドライド駐車場を整備することで手段転換の向上が期待でき、丹波島橋の混雑緩和にも寄与する。」

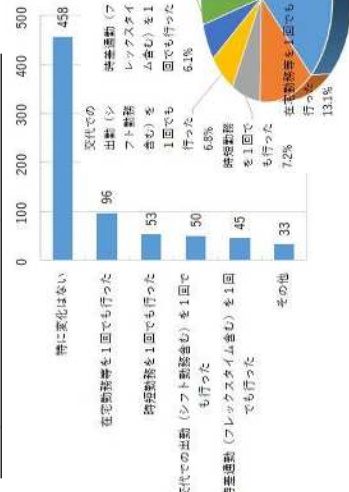
「長野都市圏の新たな総合都市交通計画」計画編SOP(長野都市圏総合都市交通計画協議会 H31年)から



20

＜通勤に関する“コロナ”の影響＞(回答:通勤者)

感染拡大に伴い動き方に変化はあったか？

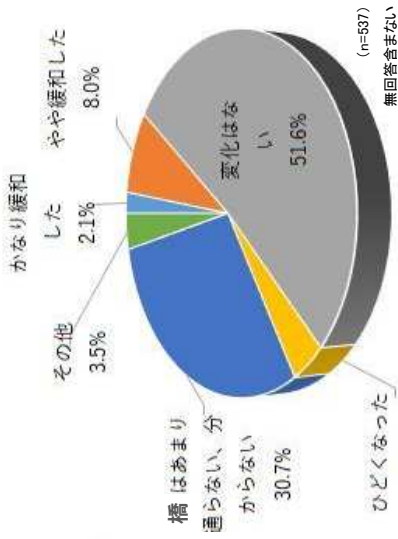
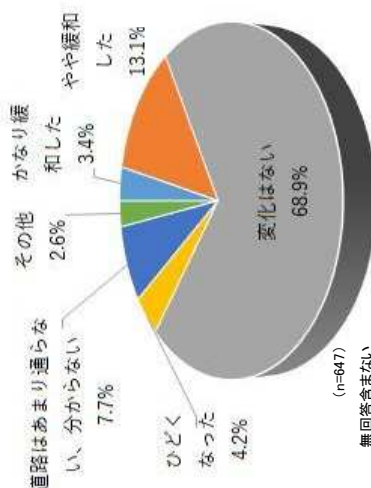


- ✓ “コロナ”感染拡大に伴い、通勤者のうち、3割程は「在宅勤務」等を行ったことがあるが、通勤手段については、ほとんど変更していない
- ✓ 「通勤手段を変更した(ことがある)」とした回答者のうち、最も多かったのは「電車からマイカーに」であった(10人)

＜通勤に関する“コロナ”の影響＞（回答：通勤者）

感染拡大期間中、通勤時間帯の道路渋滞についてどう感じているか？

（感染拡大期間：概ねR2年 3月～11月）

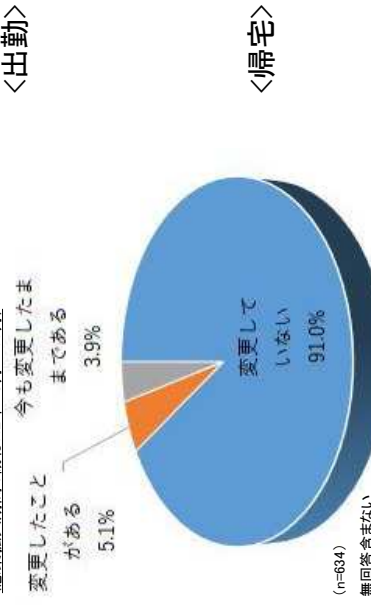


多くは「変化なし」としているが、道路渋滞については17%。橋の渋滞については10%の通勤者が「緩和した」と感じている（かなり緩和した+やや緩和したの合計）

＜通勤に関する“コロナ”の影響＞（回答：通勤者）

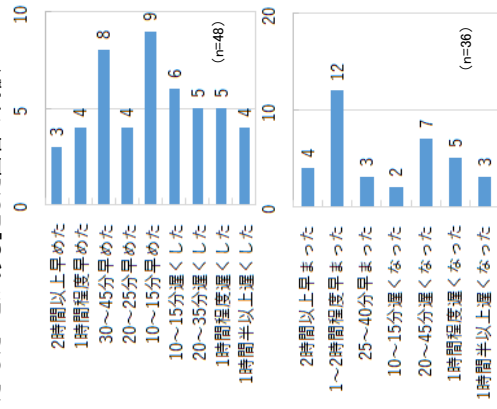
感染拡大期間中、出勤時刻、帰宅時刻を変更したか？

（感染拡大期間：概ねR2年 3月～11月）



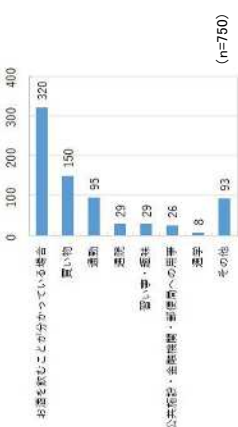
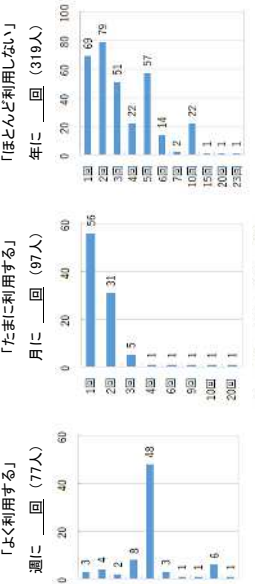
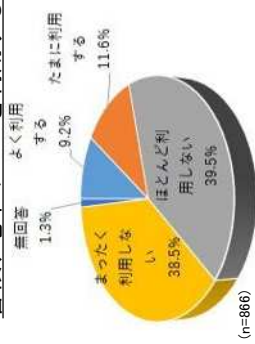
出勤時刻等を「変更した・したことがある」とした通勤者は、約1割にとどまった

22



＜公共交通全般＞（回答：全員）

普段、電車やバスを利用するか？



普段の生活の中で、電車やバスを利用する目的は？

＜公共交通全般＞（回答：全員）

丹波島橋周辺の交通渋滞について普段感じていることや要望

（分類ごとの意見件数）

分類	意見件数
1 全般的な意見・感想	142
2 バスレーンに関する意見	92
3 道路整備に関する意見	88
4 利用しない	36
5 交差点・信号に関する意見	32
6 渋滞回避の工夫等	25
7 マナーに関する意見	19
8 道路整備以外の渋滞対策の意見	9
9 公共交通の利用促進につながる意見	5
10 その他の意見等	2

分類	意見件数
1 バスに関する意見	107
2 現在の公共交通に対する意見	77
3 鉄道に関する意見	39
4 特定の地域・区間に関する意見	37
5 道路整備に関する意見	31
6 高齢者対策	13
7 交通渋滞に関する意見	12
8 徒歩・自転車利用に関する意見	10
9 公共交通の利用促進につながる意見	10
10 交通マナー向上に関する意見	9
11 パークアンドライドに関する意見	7
12 新型コロナウイルスに関する意見	6
13 新たな公共交通システムに関する意見	5
14 その他の意見・感想等	5

公共交通全般について普段感じていることや要望

（分類ごとの意見件数）

Ⅰ 回答される方ご自身について伺います

◆ここは、全員お答えください

該当するものをそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

別紙資料 アンケート用紙

問1 年代	1. 10歳代 2. 20歳代	3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代	7. 70歳代
問2 お住まいの 地区	篠ノ井地区 1 合戦場 (1・2・3丁目) 2 篠ノ井会 3 〃 石川 4 〃 有旅 5 〃 岡田 6 〃 御幣川 7 〃 杵淵 8 〃 小松原 9 〃 小森 10 〃 塩崎 11 〃 東福寺 12 〃 西寺尾 13 〃 布施五明 14 〃 布施高田 15 〃 ニツ柳 16 〃 山布施 17 〃 横田 18 神明 19 東犀南 20 みこと川	松代地区 1 松代温泉 2 松代町岩野 3 〃 大室 4 〃 小島田 5 〃 清野 6 〃 柴 7 〃 城東 8 〃 城北 9 〃 豊栄 10 〃 西条 11 〃 西寺尾 12 〃 東条 13 〃 東寺尾 14 〃 牧島 15 〃 松代 16 皆神台	川中島地区 1 金井田 2 川中島町今井 3 〃 今井原 4 〃 今里 5 〃 上氷鉤 6 〃 原 7 〃 御厨 8 〃 四ツ屋 9 里島 10 三本柳西 (1・2・3丁目)	更北地区 1 青木島 (1・2・3・4丁目) 2 青木島町青木島甲 3 〃 青木島乙 4 〃 大塚 5 〃 網島 6 市場 7 稲里1丁目 8 稲里町下氷鉤 9 〃 田牧 10 〃 中央 (1・2・3・4丁目) 11 〃 中氷鉤 12 大橋南(1・2丁目) 13 小島田町 14 三本柳東 (1・2・3丁目) 15 下氷鉤1丁目 16 丹波島(1・2・3丁目) 17 広田 18 真島町川合 19 〃 真島
	その他、あるいはお住まいの地区がわからない場合、町の名等を記入してください 長野市			
問3 仕事の内容 業種など	1. 農林水産鉱業 2. 建設業 3. 製造業 4. 卸小売業 5. 金融保険不動産業 6. 医療 7. 福祉 8. サービス業 () (学術研究、専門・技術、宿泊・飲食、生活関連 ・娯楽、教育・学習支援、複合サービス等) 9. 運輸情報通信業 10. 電気ガス水道業 11. 公務 12. その他 () 13. 仕事はしているが通勤していない 14. 仕事はしていない、又は学生である 8ページ「問21」へ お進みください			

ながのご縁を



信都・長野市

通勤手段等に関するアンケート

ご協力をお願いします

令和2年11月
長野市

皆様には日ごろから市政にご協力をいただき、まことにありがとうございます。

また、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた様々なお願い等に対し、格別のご理解ご協力をいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

さて、長野市では、通勤手段をマイカーから環境負荷の少ない電車やバス、自転車、徒歩などへ自発的に転換していただく「エコ通勤」や、電車やバスの混雑緩和や道路の渋滞緩和に効果がある時差出勤・フレックスタイムなどの導入を企業に働きかける「ピークシフト」を推進しています。

これらが今後効果的な取組となるよう、市南部地域にお住まいの皆さまの通勤実態や公共交通についてのご意識やご意見を伺い、地域の公共交通の利用促進と通勤時の渋滞緩和に向けた基礎資料とするため、この度、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、篠ノ井・松代・川中島・更北の各地区にお住まいの、満19歳以上70歳未満の皆様から2,000人を無作為で選ばせていただき、実施するものです。アンケートは無記名でご回答いただき、その結果は統計的に集計、分析し、他の目的に使用することは一切いたしません。

まことに恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

*** 回答方法 ***

<手順1> 黒の鉛筆やボールペンなどを使用して、このアンケート用紙に回答を

直接記入してください。

<手順2> 同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函してください。

(用紙や封筒に住所や氏名などの記入は不要です。また、切手を貼る必要はありません。)

※ 12月4日(金曜日)までにご返送をお願いいたします。

このアンケートについてのお問い合わせは下記へお願いします。

<お問い合わせ先> 長野市役所都市整備部交通政策課 担当：中島・丸山・寺島
電話 026-224-5012 (直通) F A X 026-224-9715
E-mail : kotuseisaku@city.nagano.lg.jp

II あなたの普段の通勤状況について伺います

◆ここからは、通勤している方のみ、お答えください

問4 新型コロナウイルス感染拡大前の、あなたの普段の通勤時間・出勤時刻（自宅を出発する時刻）・帰宅時刻（自宅に到着する時刻）を教えてください。

（下線部に数字を記入してください。）

出勤時の所要時間	約	時間	分	自宅出発時刻	時	分	ところ
帰宅時の所要時間	約	時間	分	帰宅時刻	時	分	ところ

問5 あなたの勤務地はどこですか？

（下の長野駅周辺図を参照し、勤務地を1つだけ選んで○をつけ、下線部に具体的な

町名・施設名等を記入してください。）

【記載例 ②. 長野駅周辺の概ね北側（町名、施設名等 新田町 トイゴ内）】

1. 長野駅周辺（徒歩15分程度、概ね下の図の点線の範囲内）	(町名、施設名等)
2. 長野駅周辺の概ね北側	(町名、施設名等)
3. 長野駅周辺の概ね東側	(町名、施設名等)
4. 長野駅周辺の概ね南側	(町名、施設名等)
5. 長野駅周辺の概ね西側	(町名、施設名等)
6. その他（町名等、施設名等）	



問6 あなたの普段の主な通勤手段はなんですか？

（1つだけ選んで○をつけてください。）

1. マイカー	3. バス	5. 自転車	7. その他
2. 電車	4. バイク	6. 徒歩	()

問7 あなたの通勤経路では普段どの橋を渡りますか？（普段、電車を利用する場合は記入せず問8へ）（1つだけ選んで○をつけてください。）

1. 小市橋	3. 長野大橋
2. 丹波島橋	4. 五輪大橋
5. 落合橋	6. その他の橋
7. 通らない	(橋名)

参考図

III 新型コロナウイルス感染拡大に伴う通勤への影響等について伺います

◆ここは、通勤している方のみ、お答えください

問8 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、あなたの働き方に変化はありましたか？

（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

1. 特に変化はない
2. 在宅勤務等（テレワーク・モバイルワーク・サテライトオフィス利用含む）を1回でも行った
3. 交代での出勤（シフト勤務含む）を1回でも行った
4. 時差通勤（フレックスタイム含む）を1回でも行った
5. 時短勤務を1回でも行った
6. その他 ()

問9 あなたは新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに通勤手段を変更しましたか？

（あなたの行動にあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけ、「2」または「3」を選んだ場合は、下欄のa～gとh～nからそれぞれ1つ選んで○をつけてください。）

1. 変更していない	→ 「問11」へお進みください
2. 変更したことがある	3. 今も変更したままである ↓ 下記もお答えください
(変更前)	(変更後)
a. マイカーから、 b. 電車から、 c. バスから、 d. バイクから、 e. 自転車から f. 徒歩から、 g. その他() から、	h. マイカーに i. 電車に j. バスに k. バイクに l. 自転車に m. 徒歩に n. その他 () に

問10 あなたが新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに通勤手段を変更した理由はなんですか？（**あてはまるものすべてに○**をつけてください。）

1. 働き方の変化（在宅勤務、交代での出勤、時差出勤、時短勤務等）により、通勤手段も変更する必要があるから
2. 道路渋滞がひどくなったから
3. 道路渋滞が緩和したから
4. 子連れで出勤・通園等する必要があるから
5. 感染症に対する不安があったから
6. 勤務先からの配慮や指示があったから
7. その他（_____）

問11 あなたは新型コロナウイルス感染拡大期間中（概ね今年3月～現在）、通勤時間中の道路渋滞について、どのように感じていますか？
（1つだけ選んで○をつけてください。）

1. かなり緩和した 4. ひどくなった

2. やや緩和した 5. 道路はあまり通らない、分らない

3. 変化はない 6. その他（ ）

2 あなたは新型コロナウイルス感染拡大期間中（概ね今年3月～現在）、「問7」でお答えいただいた通勤経路の橋の道路渋滞について、どのように感じていますか？
（1つだけ選んで○をつけてください。）

1. かなり緩和した 4. ひどくなった

2. やや緩和した 5. 橋はあまり通らない、分らない

3. 変化はない 6. その他（ ）

問13 あなたは新型コロナウイルス感染拡大期間中（概ね今年3月～現在）、「問7」でお答えいただいた通勤経路の橋を変更しましたか？

- (1つだけ選んで○をつけてください。「2」または「3」を選んだ場合は、下欄のa～gから1つ選んで○をつけてください。)

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 変更していない | 3. 今も変更したままである | ↓ 下記も教えてください |
| (変更後の橋) | | |
| a. 小市橋 | e. 落合橋 | |
| b. 丹波島橋 | f. その他の橋 | |
| c. 長野大橋 | (橋名) | |
| d. 五輪大橋 | g. 通らなくなった | |

問14 あなたは新型コロナウイルス感染症拡大期間中（概ね今年3月～現在）、「問4」で答えたいだいたいの出勤時刻（自宅を出発する時刻）、帰宅時刻（自宅に到着する時刻）を変更しましたか？（1つだけ選んで○をつけてください。[2]または[3]を選んだ場合は、下線部に数字を記入してください。）

- | | | | |
|-------------|----------------|----|------------|
| 1. 変更していない | 3. 今も変更したままである | ↓ | 下記もお答えください |
| (変更後の通勤時間等) | | | |
| 出勤時の所要時間 | 約 | 時間 | 分 |
| 自宅出発時刻 | | 時 | 分 |
| 帰宅時の所要時間 | 約 | 時間 | 分 |
| 帰宅時刻 | | 時 | 分 |

IV マイカー通勤の方に、公共交通の利用について伺います

◆ここからは、「問6」で「1. マイカー」を選択した方のみ、お答えください

質問 15 あなたは通勤時に自宅または勤務地の近くに駅やバス停があれば電車・バスを利用しますか？その場合、駅やバス停までの距離がどのくらいであれば利用しますか？（1つだけ選んで○をつけて、「2」に○をつけた方は下線部に数字を記入して下さい。）

1. 駅やバス停が近くにあって利用しない
2. 近くにあれば利用する
 - ・ 自宅または勤務地から、徒歩の場合
_____メートル以内、または _____分以内
 - ・ 自宅または勤務地から、自転車を使う場合
_____メートル以内、または _____分以内

問16 あなたは電車やバスの待ち時間がどの程度までであれば我慢できますか？
(下線部に数字を記入してください。)

- 電車の場合 _____ 分まで
- バスの場合 _____ 分まで

問17 自宅から駅やバス停までマイカーや自転車・バイクで行き、電車やバスに乗り換えて勤務地に向かう方法（パーク・アンド・ライド）がありますが、あなたは乗り換えて用の駐車場や駐輪場があれば、電車やバスに乗り換えますか？
（1つだけ選んで○をつけてください。）

1. 乗り換える（駐車場を利用する）
2. 乗り換える（駐輪場を利用する）
3. 乗り換えない → 7 ページの「問20」へお進みください

問18 乗り換える場合、具体的にどこに乗り換え用駐車場や駐輪場があれば、電車やバスに乗り換えますか？

(あてはまるものすべてに○をつけ、下線部に場所・地名等を記入してください。)

1. 電車に乗り換える場合	_____ 駅付近
2. バスに乗り換える場合	_____ バス停付近
3. その他 (_____)	

問19 あなたがマイカーで乗り換え用駐車場を利用する場合、駐車場料金が月額いくらまであれば利用しますか？(駐輪場を利用する場合は記入せず問20へ)
(下線部に数字を記入してください。)

1ヶ月あたり _____ 円までであれば利用する

問20 あなたがマイカー以外で通勤する場合の課題等は何ですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 仕事でマイカーを利用することがある
2. 子どもの送迎がある
3. 家族の介護がある
4. 出勤時刻に間に合う電車やバスがない
5. 帰宅時間帯に都合のよい電車やバスがない
6. 定期代や交通費の支給がない
7. 自宅から最寄りの駅やバス停が遠い
8. 勤務地から最寄りの駅やバス停が遠い
9. 電車やバスの混雑が嫌
10. 電車やバスを待つのが嫌
11. 電車やバスを利用すると時間がかかる
12. 渋滞等でバスの時間が不正確
13. マイカーのように便利で快適ではない
14. 感染症に対する不安がある
15. 時差出勤が導入されれば電車やバスで通勤できる
16. その他 (_____)

V 公共交通全般について伺います

◆ここからは、全員お答えください

問21 あなたは普段電車やバスを利用しますか？

(1つだけ選んで、下線部に数字を記入してください。)

1. よく利用する	(週に _____ 回程度)
2. たまに利用する	(月に _____ 回程度)
3. ほとんど利用しない	(年に _____ 回程度)
4. まったく利用しない	→ 「問23」へお進みください

問22 あなたが普段の生活の中で電車やバスを利用する場合、その主な利用目的はなんですか？(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 買い物
2. 通院
3. 通学
4. 通勤
5. 習い事・趣味
6. 公共施設・金融機関・郵便局への用事
7. お酒を飲むことが分かっている場合
8. その他 (_____)

問23 通勤時間帯の丹波島橋周辺の渋滞について、あなたが普段感じていることや要望がありましたらご記入ください。(下線部に自由にご記入ください)

問24 公共交通全般について、あなたが普段感じていることや要望がありましたらご記入ください。(下線部に自由にご記入ください)

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございます。

同封の返信用封筒に入れ、12月4日（金）までに
切手を貼らずにポストへ入れてください。



令和3年度版 長野市地域公共交通網形成計画に係る実施計画

＜暫定版・その2＞

令和3年5月

長野市都市整備部交通政策課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地